別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画

事項	記入欄	備考
計画の区分	短期大学の収容定員に係る学則変更	
フリガナ 設置者	ガッコウホウジン　ソニーガクエン 学校法人　ソニー学園	
フリガナ 大学の名称	ショウホクタンキダイガク 湘北短期大学	
大学本部の位置	神奈川県厚木市温水字長久保４２８番地	
大学の目的	本学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、深く専門の学芸を教授研究し、職業又は実際生活に必要な能力を育成することにより、社会でほんとうに役立つ人材を育て、もって社会の発展に寄与する。	
新設学部等の目的	学科定員の適正化を意図した生活プロデュース学科の定員減（35名）、および保育学科の定員減（25名）を行う。	

新設学部等の概要

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	年	人	年次 人	人			年　月 第　年次	
保育学科 【Department of Early Childhood Education and Care】	2	110 (135)	－	220 (270)	短期大学士 （保育）	教育学・保育学関係	令和7年4月 第1年次	神奈川県厚木市温水字長久保428番地
生活プロデュース学科 【Department of Creative Life-Style Management】	2	90 (125)	－	180 (250)	短期大学士 （生活プロデュース）	家政関係	令和7年4月 第1年次	同上
計			－					

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	該当なし

教育課程

新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数
	講義	演習	実験・実習	計	
	科目	科目	科目	科目	単位

教員組織の概要

学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
	教授	准教授	講師	助教	計			
	人	人	人	人	人	人	人	
新設 保育学科	4 (4)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	
ａ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			短期大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　8人
ｂ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()			
小計（ａ～ｂ）	4 (4)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
ｃ．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()			
ｄ．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はｃに該当する者を除く）	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()			
計（ａ～ｄ）	4 (4)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	11 (11)			
設 生活プロデュース学科	3 (3)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	
ａ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	3 (3)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	7 (7)			短期大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　4人
ｂ．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()			
小計（ａ～ｂ）	3 (3)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	7 (7)			
ｃ．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()			
ｄ．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はｃに該当する者を除く）	() ()	() ()	() ()	() ()	() ()			
計（ａ～ｄ）	3 (3)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	7 (7)			
分 計	7 (7)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	0 (0)	

既設分	総合ビジネス・情報学科	5 (5)	3 (3)	5 (5)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (5)	3 (3)	5 (5)	1 (1)	14 (14)			短期大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数　7人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	() 	() 	() 	() 	() 			
	小計（ａ～ｂ）	5 (5)	3 (3)	5 (5)	1 (1)	14 (14)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	() 	() 	() 	() 	() 			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	() 	() 	() 	() 	() 			
	計（ａ～ｄ）	5 (5)	3 (3)	5 (5)	1 (1)	14 (14)			
合　　計		12 (12)	8 (8)	11 (11)	1 (1)	32 (32)	0 (0)	0 (0)	

職　　種	専　属	その他	計	
事　務　職　員	人 26 (26)	人 9 (9)	人 35 (35)	
技　術　職　員	() 	() 	() 	
図　書　館　職　員	1 (1)	1 (1)	4 (4)	
そ　の　他　の　職　員	() 	() 	() 	
指　導　補　助　者	() 	() 	() 	
計	27 (27)	12 (12)	39 (39)	

校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	26,519.88　㎡	0　㎡	0　㎡	26,519.88　㎡	※借用面積8,135.88㎡ 期間：平成15年～30年間
	そ　の　他	976.14　㎡	0　㎡	0　㎡	976.14　㎡	
	合　計	27,496.02　㎡	0　㎡	0　㎡	27,496.02　㎡	

校　舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	17,281.98　㎡ (17,281.98　㎡)	0　㎡ (　0　㎡)	0　㎡ (　0　㎡)	17,281.98　㎡ (17,281.98　㎡)	

教室・教員研究室	教　室	室	教員研究室	室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
		〔　〕 (〔　〕)	〔　〕 (〔　〕)	〔　〕 (〔　〕)	〔　〕 (〔　〕)	(　)	(　)	
	計	〔　〕 (〔　〕)	〔　〕 (〔　〕)	〔　〕 (〔　〕)	〔　〕 (〔　〕)	(　)	(　)	

スポーツ施設等	スポーツ施設	講堂	厚生補導施設	
	㎡	㎡	㎡	

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
		教員１人当り研究費等		300　千円	300　千円	－	－	－	－	
		共同研究費等		0　千円	0　千円	－	－	－	－	
		図書購入費	5,000　千円	5,000　千円	5,000　千円	－	－	－	－	
		設備購入費	23,500　千円	10,000　千円	10,000　千円	－	－	－	－	
	学生１人当り納付金			第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
				千円	千円	－　千円	－　千円	－　千円	－　千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金，資産運用収入，手数料収入，寄付金収入等						

既設大学等の状況	大学等の名称	湘北短期大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	生活プロデュース学科	2	125	－	250	短期大学士（生活プロデュース）	0.54	昭和49年	神奈川県厚木市温水字長久保428番地
	保育学科	2	135	－	270	短期大学士（保育）	0.68	昭和54年	
	総合ビジネス・情報学科	2	220	－	440	短期大学士（総合ビジネス・情報）	0.73	平成28年	

附属施設の概要	該当なし

（注）
1　共同学科の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
2　「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
3「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。
4　私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
5　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
6　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
7　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

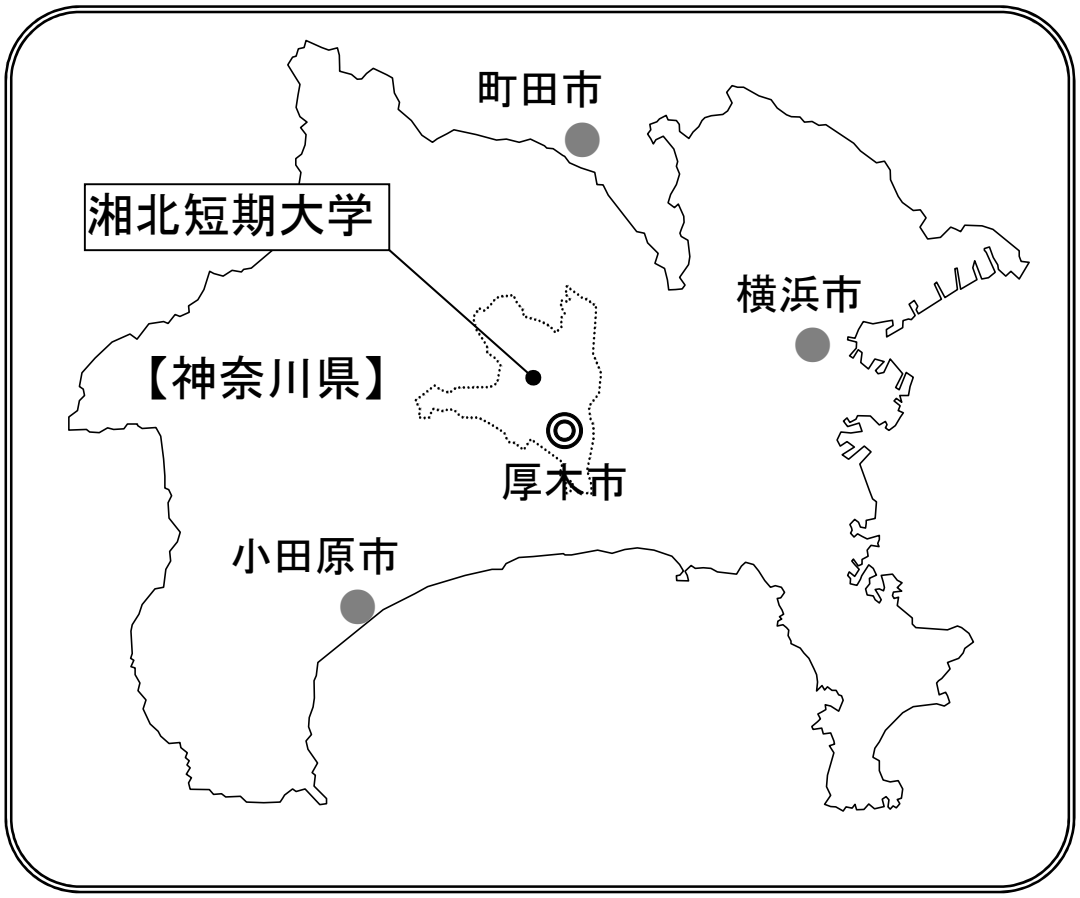
学校法人ソニー学園　設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学定員	編入学定員	収容定員
湘北短期大学			
総合ビジネス・情報学科	220	ー	440
生活プロデュース学科	125	ー	280
保育学科	135	ー	240
計	480	ー	960

令和7年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
湘北短期大学				
総合ビジネス・情報学科	220	ー	440	
生活プロデュース学科	90	ー	180	定員変更（△35）
保育学科	110	ー	220	定員変更（△25）
計	420		840	

校地校舎等の図面

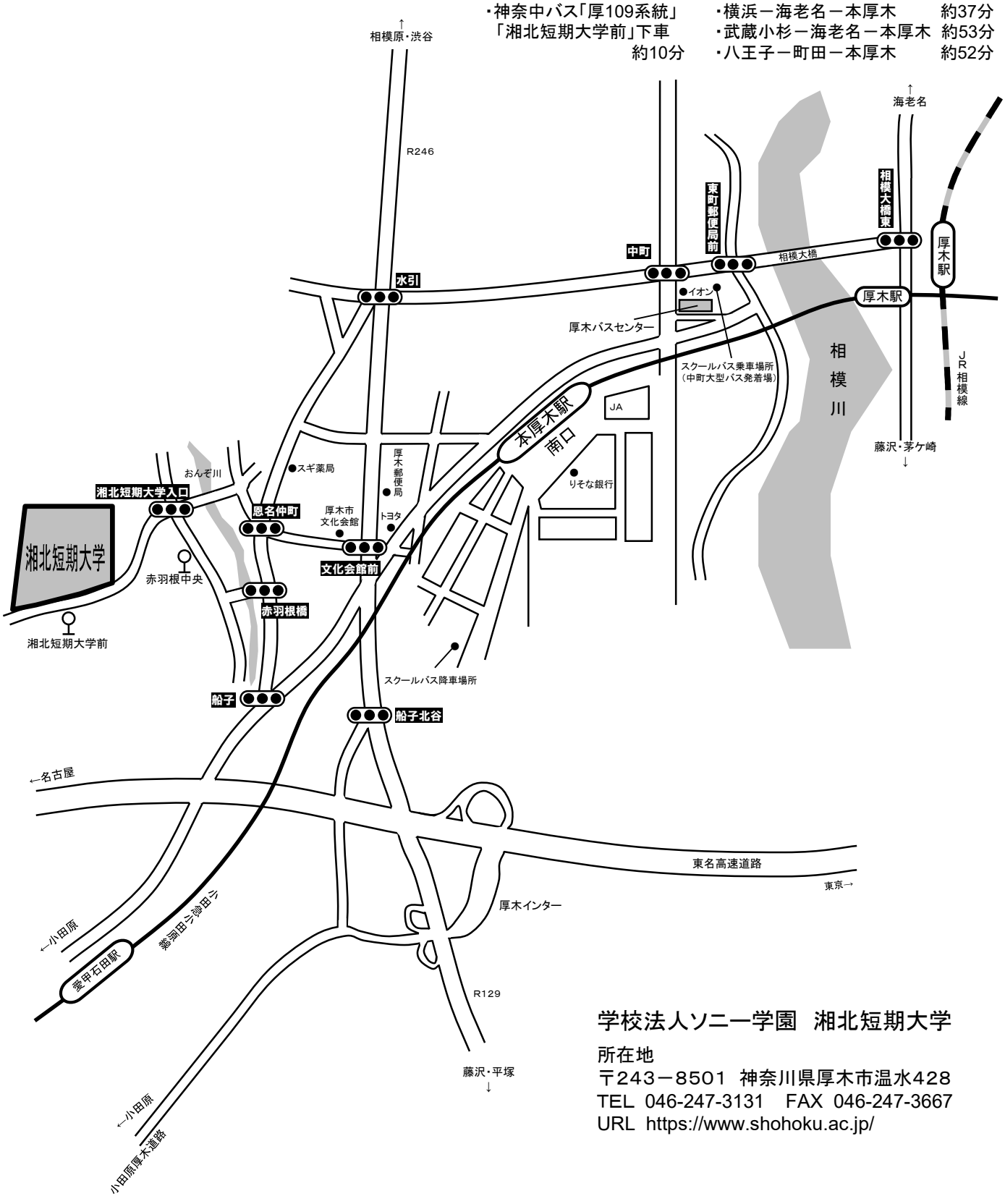
（1）神奈川県内における位置関係の図面



（2）最寄駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面

●徒歩約25分
●本厚木駅～本学
・スクールバス
・神奈中バス「厚109系統」
「湘北短期大学前」下車
約10分

●小田急「本厚木駅」下車
・新宿－本厚木（急行） 約47分
・小田原－本厚木（急行） 約37分
・横浜－海老名－本厚木 約37分
・武蔵小杉－海老名－本厚木 約53分
・八王子－町田－本厚木 約52分

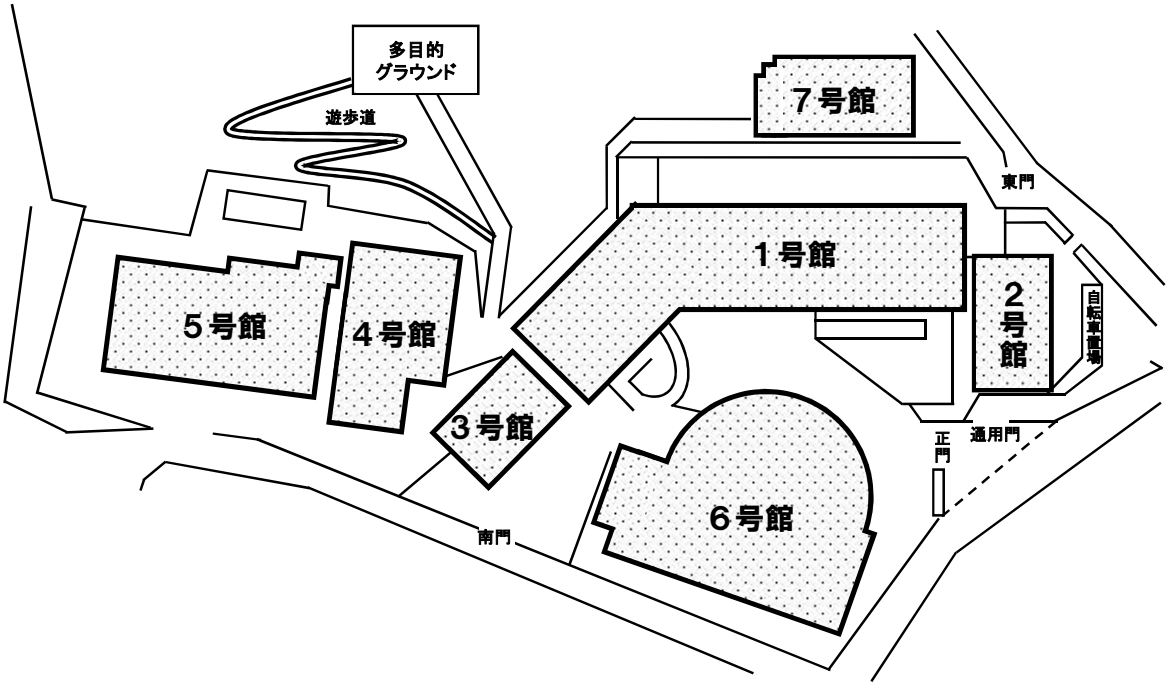


学校法人ソニー学園　湘北短期大学
所在地
〒243－8501　神奈川県厚木市温水428
TEL　046-247-3131　FAX　046-247-3667
URL　https://www.shohoku.ac.jp/

（3）校舎、運動場等の配置図

湘北短期大学　校地

神奈川県厚木市温水字長久保428番地
26,519.88㎡　　所有　18,384.00㎡
借用　8,135.88㎡
（ほかに駐車場976.14㎡）



湘北短期大学　校舎

17,281.98㎡

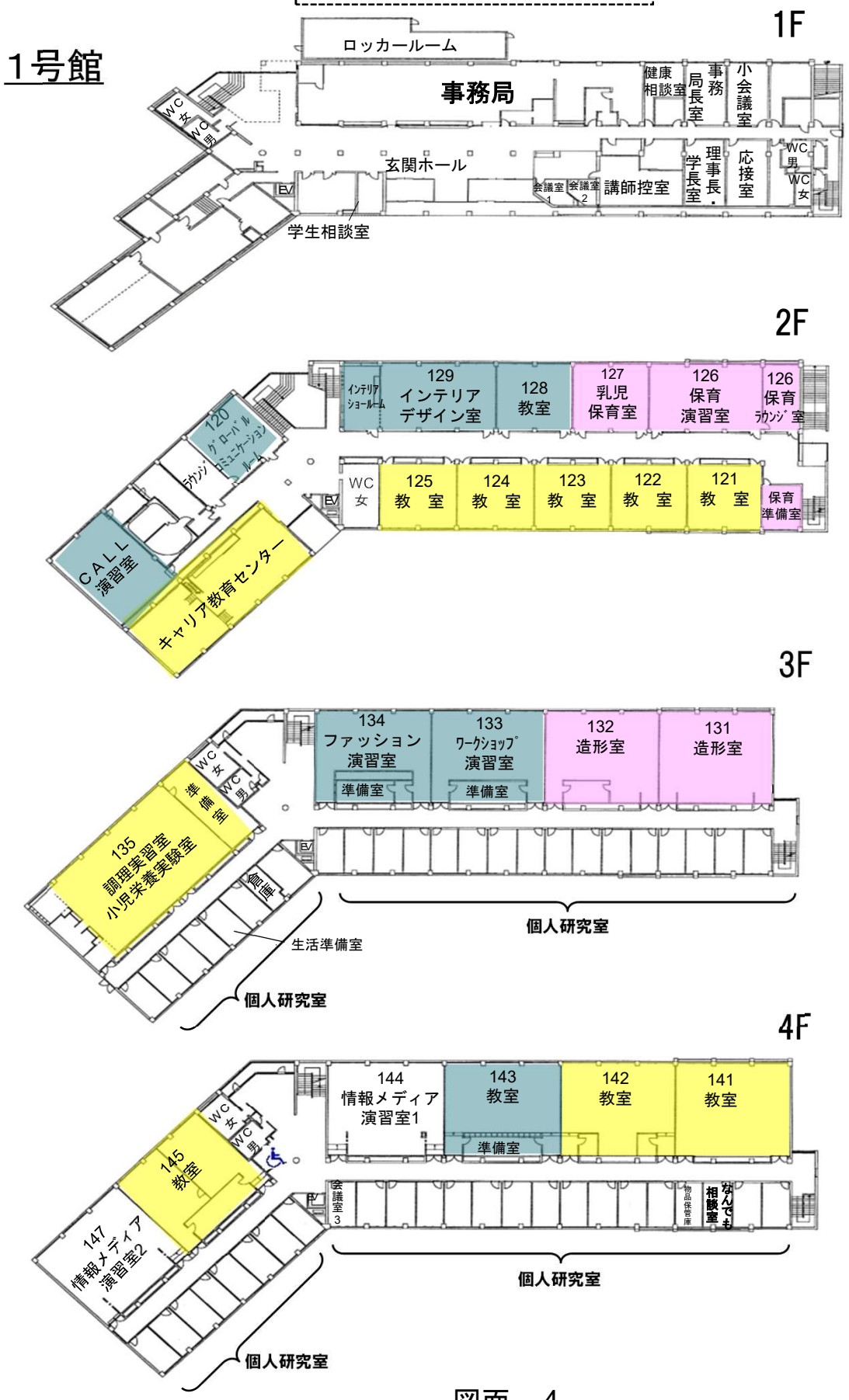
1号館（保有）校舎鉄筋コンクリート4階建	6,792.73㎡	
更衣・ロッカー室軽量鉄骨1階建	94.53㎡	
2号館（保有）校舎鉄筋コンクリート2階建	790.96㎡	
3号館（保有）校舎鉄骨造3階建	1,230.48㎡	17,281.98㎡
4号館（保有）校舎鉄骨造7階建	3,685.30㎡	
5号館（保有）校舎鉄筋コンクリート2階建	2,092.85㎡	
6号館（保有）校舎鉄筋コンクリート2階建	1,459.14㎡	
7号館（保有）校舎鉄骨造4階建	1,135.99㎡	

（4）校舎平面図

（1/3）

は学科共用
は主に生活プロデュース学科が使用
は主に保育学科が使用

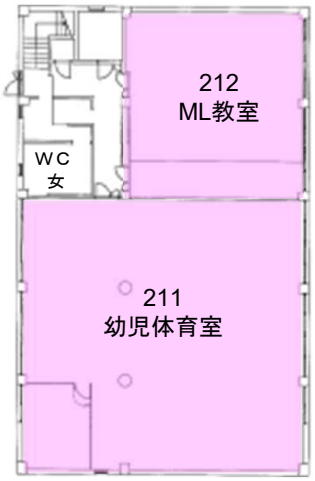
1号館



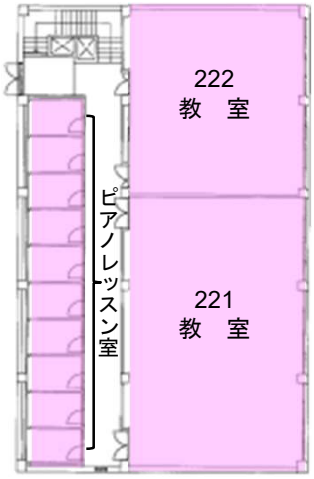
2号館

（2/3）

1F



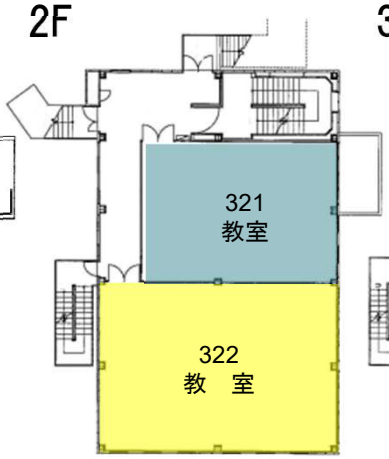
2F



3号館

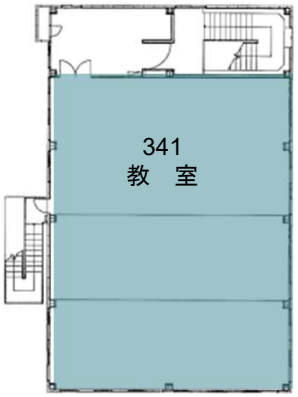
1F

2F



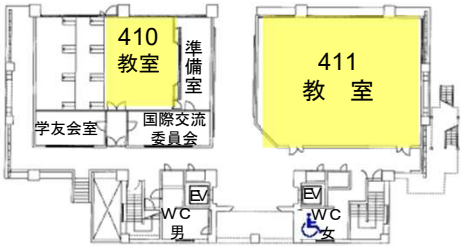
3F

4F

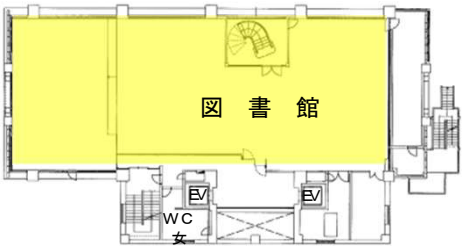


4号館

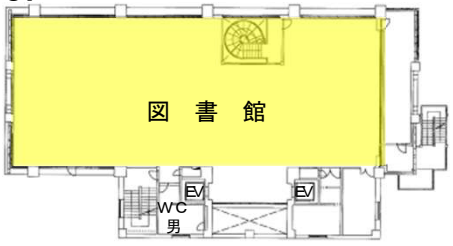
1F



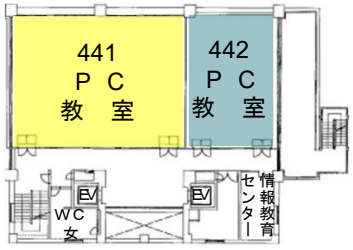
2F



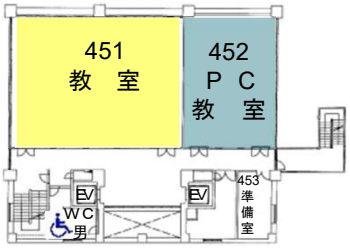
3F



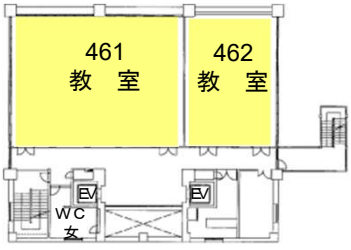
4F



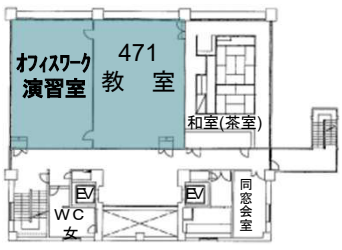
5F



6F

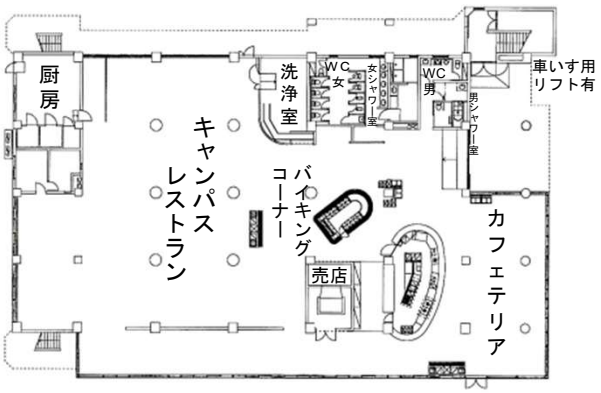


7F

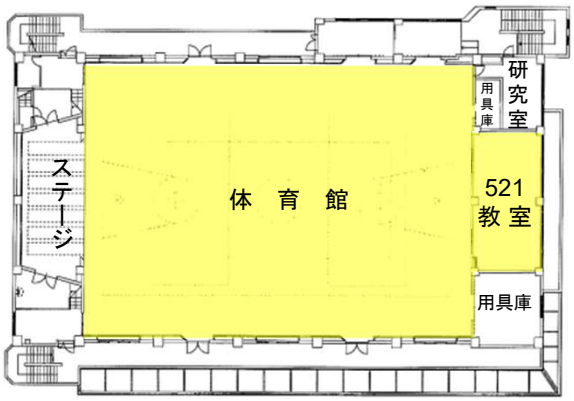


5号館

1F

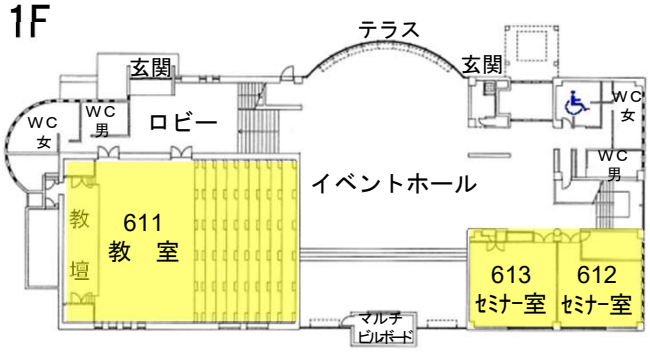


2F

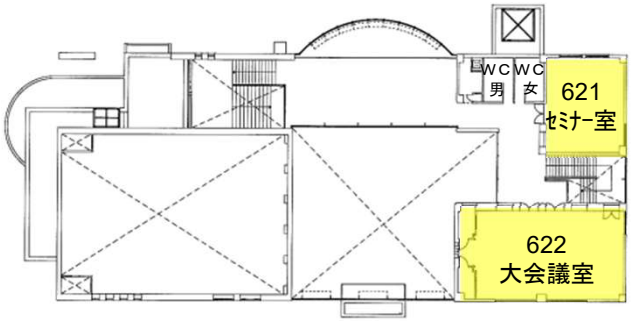


6号館

1F

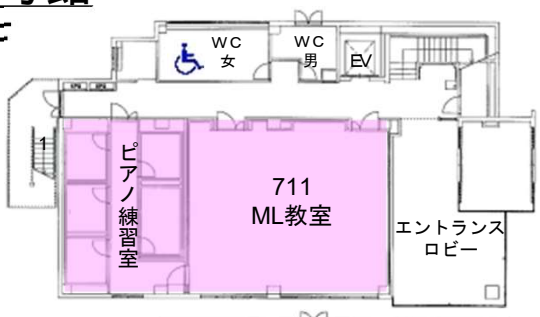


2F

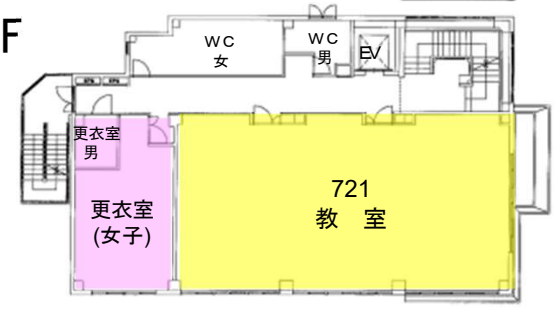


7号館

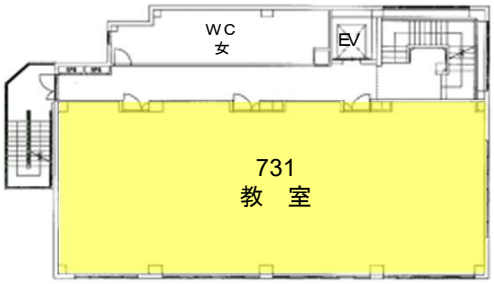
1F



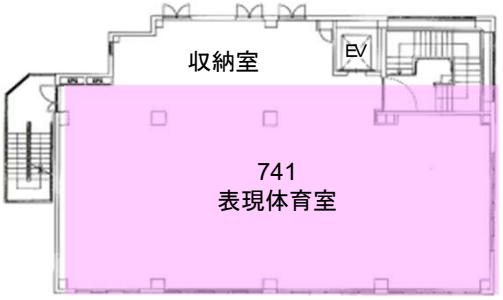
2F



3F



4F



校地・校舎等の概要を記載した書類

建物区分	名称	専用	共有	計	用途
1号館1階	理事長室・学長室	41.97	0	41.97	
	事務局長室	35.69	0	35.69	
	事務局	278.41	0	278.41	
	応接室	41.97	0	41.97	
	小会議室	35.69	0	35.69	
	会議室1・2	27.37	0	27.37	
	ミーティングスペース	18.06	0	18.06	
	印刷室	16.82	0	16.82	
	講師控室	48.14	0	48.14	
	学生相談室	16.42	0	16.42	
	健康相談室	24.22	0	24.22	
	警備員室	65.08	0	65.08	
	機械室	226.72	0	226.72	
	倉庫	82.85	0	82.85	
	電話交換機室	7.37	0	7.37	
	1G1F共用	476.01	0	476.01	
1号館1階　計		1,442.79	0	1,442.79	
2階	120教室(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾙｰﾑ)	100.43	0	100.43	語学学習施設
	121教室	71.38	0	71.38	講義室
	122教室	71.38	0	71.38	講義室
	123教室	71.38	0	71.38	講義室
	124教室	71.38	0	71.38	講義室
	125教室	71.38	0	71.38	講義室
	126教室(保育演習室/保育ラウンジ室)	142.76	0	142.76	演習室
	127教室	71.31	0	71.31	演習室
	128教室	71.31	0	71.31	講義室
	129教室(インテリアデザイン室)	104.96	0	104.96	演習室
	インテリアショールーム	37.80	0	37.80	演習室
	CALL演習室	105.70	0	105.70	語学学習施設
	保育準備室	23.65	0	23.65	
	キャリア教育センター	107.07	0	107.07	
	キャリア教育センター倉庫	71.38	0	71.38	
	ネットワーク管理室	83.42	0	83.42	
	1G2F共用	449.26	0	449.26	
1号館2階　計		1,725.95	0	1,725.95	
3階	131教室(造形室)	158.67	0	158.67	実験実習室
	132教室(造形室)	158.67	0	158.67	実験実習室
	133教室(ワークショップ演習室)	158.67	0	158.67	演習室
	134教室(ファッション演習室)	158.67	0	158.67	実験実習室
	135教室(調理実習室・小児栄養実習室	317.34	0	317.34	実験実習室
	教員研究室	367.44	0	367.44	研究室
	生活準備室	18.36	0	18.36	
	スタッフラウンジ	18.38	0	18.38	
	常勤監事室	18.38	0	18.38	
	1G3F共用	399.46	0	399.46	
	空き研究室	18.38	0	18.38	
1号館3階　計		1,792.42	0	1,792.42	

建物区分	名称	専用	共有	計	用途
4階	141教室	158.67	0	158.67	講義室
	142教室	158.67	0	158.67	講義室
	143教室	158.67	0	158.67	講義室
	144教室（情報メディア演習室1）	158.67	0	158.67	情報処理学習施設
	145教室	158.68	0	158.68	講義室
	146教室　※欠番（145と合併）		0	0.00	
	147教室（情報メディア演習室2）	158.67	0	158.67	情報処理学習施設
	教員研究室	259.47	0	259.47	研究室
	空き研究室	91.90	0	91.90	
	なんでも相談室	18.81	0	18.81	
	物品保管庫	18.38	0	18.38	
	インターンシップサポートオフィス	18.38	0	18.38	
	会議室3	36.76	0	36.76	
	1G4F共用	396.69	0	396.69	
1号館4階　計		1,792.42	0	1,792.42	
屋階	エレベーター機械室等	39.15	0	39.15	
1号館屋上　計		39.15	0	39.15	
1号館　合計		**6,792.73**	**0**	**6,792.73**	
付設更衣室	更衣室	94.53	0	94.53	
更衣室　計		94.53	0	94.53	
付設更衣室　合計		**94.53**	**0**	**94.53**	
2号館1階	211教室（幼児体育室）	225.00	0	225.00	演習室
	212教室（ML教室）	100.00	0	100.00	演習室
	2G1F共用	74.34	0	74.34	
2号館1階　計		399.34	0	399.34	
2階	221教室	150.00	0	150.00	講義室
	222教室	100.00	0	100.00	演習室
	ピアノレッスン室	72.00	0	72.00	
	2G2F共用	69.62	0	69.62	
2号館2階　計		391.62	0	391.62	
2号館　合計		**790.96**	**0**	**790.96**	
3号館1階	学生ホール	203.02	0	203.02	
	三省堂書店	11.98	0	11.98	
	3G1F共用	91.48	0	91.48	
3号館1階　計		306.48	0	306.48	
2階	321教室	96.00	0	96.00	演習室
	322教室	140.00	0	140.00	講義室
	3G2F共用	72.00	0	72.00	
3号館2階　計		308.00	0	308.00	
3階	331教室（ファッションデザイン室）	252.00	0	252.00	演習室
	3G3F共用	56.00	0	56.00	
3号館3階　計		308.00	0	308.00	
4階	341教室	252.00	0	252.00	講義室
	3G4F共用	56.00	0	56.00	
3号館4階　計		308.00	0	308.00	
3号館　合計		**1,230.48**	**0**	**1,230.48**	
4号館1階	410教室	136.00	0	136.00	講義室
	411教室	174.25	0	174.25	講義室
	国際交流委員会室	24.00	0	24.00	
	学友会室	20.80	0	20.80	
	4G1F共用	112.41	0	112.41	
4号館1階　計		467.46	0	467.46	
2階（図書館）	42セミナー室	22.05	0	22.05	図書館
	図書館2F	518.00	0	518.00	図書館
	4G2F共用	65.25	0	65.25	図書館
4号館2階　計		605.30	0	605.30	

建物区分	名称	専用	共有	計	用途
3階（図書館）	43セミナー室	22.05	0	22.05	図書館
	図書館3F	518.00	0	518.00	図書館
	4G3F共用	65.25	0	65.25	図書館
	4号館3階　計	605.30	0	605.30	
4階	441教室（PC教室）	190.40	0	190.40	情報処理学習施設
	442教室（PC教室）	95.20	0	95.20	情報処理学習施設
	情報システム部準備室	22.05	0	22.05	
	4G4F共用	159.33	0	159.33	
	4号館4階　計	466.98	0	466.98	
5階	451教室	190.40	0	190.40	講義室
	452教室（PC教室）	95.20	0	95.20	情報処理学習施設
	45資料室	22.05	0	22.05	
	4G5F共用	159.33	0	159.33	
	4号館5階　計	466.98	0	466.98	
6階	461教室	190.40	0	190.40	講義室
	462教室	95.20	0	95.20	講義室
	46資料室	22.05	0	22.05	
	4G6F共用	159.33	0	159.33	
	4号館6階　計	466.98	0	466.98	
7階	471教室	95.20	0	95.20	講義室
	同窓会室	22.05	0	22.05	
	和室	95.20	0	95.20	
	オフィスワーク演習室	95.20	0	95.20	演習室
	4G7F共用	157.65	0	157.65	
	4号館7階　計	465.30	0	465.30	
地下1階	機械室	141.00	0	141.00	
	4号館地下1階　計	141.00	0	141.00	
	4号館　合計	**3,685.30**	**0**	**3,685.30**	
5号館1階（食堂）	キャンパスレストラン	985.22	0	985.22	
	厨房	39.40	0	39.40	
	機械室	18.15	0	18.15	
	洗浄室	26.90	0	26.90	
	5号館1階　計	1,069.67	0	1,069.67	
2階（体育館）	体育館	808.50	0	808.50	体育館
	用具庫	36.88	0	36.88	体育館
	研究室（1室）	13.30	0	13.30	研究室
	5G2F共用	77.75	0	77.75	体育館
	521教室	57.75	0	57.75	講義室
	5号館2階　計	994.18	0.00	994.18	
3階	放送室	29.00	0	29.00	
	5号館3階　計	29.00	0	29.00	
	5号館　合計	**2,092.85**	**0**	**2,092.85**	
6号館1階	611教室	301.67	0	301.67	講義室
	612教室	43.38	0	43.38	講義室
	613教室	56.63	0	56.63	講義室
	イベントホール	330.00	0	330.00	
	6G倉庫1	13.25	0	13.25	
	6G倉庫2	16.00	0	16.00	
	6G1F共用	334.23	0	334.23	
	6号館1階　計	1,095.16	0	1,095.16	
2階	621教室	56.63	0	56.63	講義室
	大会議室	113.26	0	113.26	
	6G2F共用	194.09	0	194.09	
	6号館2階　計	363.98	0	363.98	
	6号館　合計	**1,459.14**	**0**	**1,459.14**	

建物区分	名称	専用	共有	計	用途
7号館1階	711教室(ML教室)	85.17	0	85.17	演習室
	ピアノレッスン室	53.80	0	53.80	
	階段室	22.46	0	22.46	
	廊下	33.11	0	33.11	
	EVシャフト	6.20	0	6.20	
	男子トイレ	7.80	0	7.80	
	女子トイレ	16.32	0	16.32	
	身障者トイレ	4.41	0	4.41	
	物入	3.38	0	3.38	
	風除室	16.33	0	16.33	
	エントランスロビー	43.89	0	43.89	
7号館1階　計		292.87	0	292.87	
2階	721教室	143.59	0	143.59	講義室
	階段室	25.85	0	25.85	
	廊下	34.73	0	34.73	
	EVシャフト	6.20	0	6.20	
	男子トイレ	7.97	0	7.97	
	女子トイレ	20.72	0	20.72	
	男子更衣室	6.21	0	6.21	
	女子更衣室	35.77	0	35.77	
7号館2階　計		281.04	0	281.04	
3階	731教室	186.79	0	186.79	講義室
	階段室	25.85	0	25.85	
	廊下	32.00	0	32.00	
	EVシャフト	6.20	0	6.20	
	女子トイレ	30.20	0	30.20	
7号館3階　計		281.04	0	281.04	
4階	741教室(表現体育室)	249.65	0	249.65	演習室
	階段室	25.85	0	25.85	
	EVシャフト	5.54	0	5.54	
7号館4階　計		281.04	0	281.04	
7号館　合計		**1,135.99**	**0**	**1,135.99**	
全合計		**17,281.98**	**0**	**17,281.98**	

２０２５年度

湘北短期大学学則

（案）

学校法人ソニー学園

湘北短期大学　学則

第１章　総則

（目的）

第１条　本学は、湘北短期大学と称し、校舎を神奈川県厚木市温水字長久保４２８番地に置く。

２　本学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、深く専門の学芸を教授研究し、職業又は実際生活に必要な能力を育成することにより、社会でほんとうに役立つ人材を育て、もって社会の発展に寄与する。

３　本学は、前項の目的を達成するため、湘北短期大学教育基本方針（教育目的、学修成果及び三つの方針（卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針及び入学者受入れの方針））を別に定める。

４　本学が設置する各学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

一　総合ビジネス・情報学科は、ビジネス知識・IT 活用能力・ビジネスの実践的技能を備えた社会で役に立つ人材を育てる。

二　生活プロデュース学科は、生活に関わる専門知識と社会課題への関心を持ち、他者と協働することができる人材を育てる。

三　保育学科は、保育に必要な知識と技能を修得し、実践的指導力と創造性を身につけ、乳幼児の豊かな心と想像力を養うことができる人材を育てる。

（自己点検・評価及び認証評価）

第２条　本学は、教育研究水準の向上を図り、社会的使命及び前条の目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。なお、点検及び評価を行うにあたっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。

２　本学は、教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認定を受けた認証評価機関による評価を受けるものとする。

３　本学は、前二項による自己点検・評価及び認証評価の結果を踏まえ、教育研究活動等について不断の見直しを行うものとする。

４　本学は、学生の学修成果を把握し、教育の質の点検と改善を恒常的・継続的に実施するため、アセスメント・ポリシーを別に定める。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第３条　本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（FD）を

実施する。

２　前項の実施について必要な事項は、別に定める。

（教職員の能力開発）

第３条の２　本学は、教育研究等の適切かつ効果的な運営を図るため、本学の教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上するための研修（SD）の機会を設ける。

２　前項の実施について必要な事項は、別に定める。

（教育研究活動等の情報の公表）

第３条の３　本学は、本学における教育研究活動等の状況についての情報を、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって、公表するものとする。

第２章 学科、センター、収容定員及び修業年限

（学科及び収容定員）

第４条　本学において設置する学科及び収容定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	収容定員
総合ビジネス・情報学科	２２０人	４４０人
生活プロデュース学科	９０人	１８０人
保育学科	１１０人	２２０人

２　保育学科にあっては、児童福祉法施行規則等により、学級数の定めが必要とされる演習・実習・実技科目については、学級数を３とする。ただし、学年毎の実員状況に応じ、これによらない場合がある。

（センター）

第４条の２　本学の教育及び学生指導の充実を図るため次のセンターを置く。

一　キャリア教育センター

二　グローバルコミュニケーションセンター

三　リベラルアーツセンター

２　センターの業務について必要な事項は、別に定める。

（修業年限及び在学年限）

第５条　本学の修業年限は２年とする。

２　学生は４年を超えて在学することはできない。

３　前項の規定にかかわらず、再入学又は転入学により入学した者は、入学後在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

第３章 学年、学期及び休業日

（学年）

第６条　学年は４月１日に始まり翌年３月３１日に終わる。

（学期）

第７条　学年を分けて次の２学期とする。

前期　　４月１日から９月３０日まで

後期　　１０月１日から翌年３月３１日まで

２　前項の規定にかかわらず、後期に属する授業科目は夏季休業日終了の翌日から開講することができる。

（休業日）

第８条　休業日は次のとおりとする。ただし、学長が必要と認めるときは、休業日に授業を行うことがある。

一　日曜日

二　国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日

三　学園創立記念日　１１月１３日

四　春季休業日　　学長が別に定める日とする。

五　夏季休業日　　学長が別に定める日とする。

六　冬季休業日　　学長が別に定める日とする。

２　前項の規定にかかわらず、学長は臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することができる。

３　保育学科においては、休業日に実習を実施することがある。

４　総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科においては、休業日にインターンシップを実施することがある。

（授業期間）

第９条　１年間の授業を行う期間は、３５週にわたることを原則とする。

２　各授業科目の授業は、１５週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

第４章 教育課程、履修方法及び単位の授与

（開設授業科目及びその単位数）

第１０条　本学は、卒業認定・学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づき、本学及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成する。

２　本学において開設する授業科目は、リベラルアーツ科目、国際理解科目、インターンシップ科目、就業力育成科目、保健体育科目、専門教育科目及び日本語科目に区分する。

３　　開設する授業科目名及びその単位数は、別表（Ｉ－Ｉ～Ⅷ）のとおりとする。

（授業の方法）

第１０条の２　授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行うものとする。なお、授業の一部は、文部科学大臣が別に定めるところにより、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

２　前項の授業は、外国において履修させることができる。

３　前各項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

（履修の方法）

第１１条　本学において開設する授業科目は、これを必修及び選択科目とし、履修の方法についてはこの学則に定めるもののほか、別に定めるところによる。

（履修科目の登録）

第１２条　学生は、毎学年の当初に当該年度において履修する授業科目を登録しなければならない。

２　学生は、前項により登録した授業科目以外の授業科目を履修し、また単位を修得することはできない。

３　本学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が１年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を定める。

４　本学は、所定の単位数を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録をすることを認める。

（他学科科目の履修）

第１２条の２　学生は、所属する学科以外の学科が開設する授業科目を履修することがで

きる。
２　前項に規定する授業科目の履修及び単位の修得等について必要な事項は、別に定める。

（単位の授与）

第１３条　授業科目を履修した学生には、認定の上、所定の単位を与える。
２　単位修得の認定は、試験その他本学が定める適切な方法（以下「試験等」という。）により学修成果を評価して行うものとし、その方法については各授業科目の担当者が定める。

（試験等の時期）

第１４条　試験等の時期は、原則として学期末又は学年末とする。ただし、各授業科目の担当者が必要と認めたときは、臨時に行うことができる。

（試験等の受験資格）

第１５条　当該授業科目の履修について第１２条第１項による登録をしていない学生は、試験等を受けることはできない。
２　当該授業科目の出席回数が、実授業回数の３分の２に満たない学生は、試験等を受けることができない。
３　当該学期の学納金を納入していない学生は、試験等を受けることができない。ただし、第３９条第２項に定める学納金の納入猶予が認められている学生は、この限りではない。

（追試験及び再試験）

第１６条　病気等止むを得ない事情により試験等を受験できなかった学生は、願い出により追試験を受けることができる。
２　試験等の結果、不合格となった学生は、当該授業科目の担当者が再試験を実施する場合に限り、再試験を受けることができる。

（成績の評価）

第１７条　試験等の成績の評価は、ＡＡ（９０点～１００点）、Ａ（８０点～８９点）、Ｂ（７０点～７９点）、Ｃ（６０点～６９点）、Ｎ（単位認定）、Ｄ（５９点以下）、Ｅ（履修放棄）をもって表し、Ｃ以上及びＮを合格とし、Ｄを不合格とする。
２　成績の評価について必要な事項は、別に定める。

（単位の計算方法）

第１８条　各授業科目の単位数は、１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、第10条の２第１項に規定する授業の方法に応じ、当

該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

一　講義については、１５時間の授業をもって１単位とする。ただし、別に定める授業科目については３０時間の授業をもって１単位とする。

二　演習については、３０時間の授業をもって１単位とする。ただし、総合ビジネス・情報学科及び生活プロデュース学科の別に定める授業科目、並びに保育学科の「保育・教職実践演習（幼稚園）」、「子どもの食と栄養」は、１５時間の授業をもって１単位とする。

三　実験、実習及び実技については、４５時間の授業をもって１単位とする。ただし、総合ビジネス・情報学科及び生活プロデュース学科の別に定める授業科目、並びに保育学科の「体育実技／理論」、「教育実習」は、３０時間の授業をもって１単位とする。

四　１の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち２以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前三号に規定する基準を考慮して、本学が別に定める時間の授業をもって１単位とする。

２　前項の規定にかかわらず、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、本学が単位数を定めることができる。

第５章　卒業、学位の授与、免許及び資格の取得

（卒業の要件）

第１９条　本学を卒業するためには、学生は別に定める所定の単位を修得しなければならない。

（免許及び資格の取得）

第２０条　本学において取得できる教育職員免許状及び資格の種類は、次のとおりとする。

保育学科	幼稚園教諭二種免許状
	保育士資格

２ 保育学科において、教育職員免許状を取得しようとする学生は、前条第１項第三号に規定する卒業の要件を充足し、かつ教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。なお、幼稚園教諭二種免許状に関する授業科目は、別表Ⅰ－Ⅲに掲げるとおりとする。

３　保育学科において、保育士資格を取得しようとする学生は、前条第１項第三号に規定する卒業の要件を充足し、かつ児童福祉法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。なお、保育士資格に関する授業科目は、別表Ⅰ－Ⅲに掲げるとおりとする。

（課程修了及び卒業の認定）

第２１条　学長は、別に定める卒業に必要な単位を修得した学生に対し、教授会の審議を経て、卒業を認定する。

２　前項の認定は、学年末に行う。ただし、必要に応じて前期末に行うことができる。

３　卒業の認定について必要な事項は、別に定める。

４　学長は、第１項の規定により卒業を認定した学生に対して、「学位規程」に定めるところにより、短期大学士の学位を授与し、学位記を交付する。

５　短期大学士の学位には、学科ごとに次の専攻分野の名称を付記するものとする。

（学科）	（学位）
総合ビジネス・情報学科	短期大学士（総合ビジネス・情報）
生活プロデュース学科	短期大学士（生活プロデュース）
保育学科	短期大学士（保育）

６　学位を授与された者が、その学位の名称を用いるときは、本学の名称を次のとおり付記しなければならない。

短期大学士　（専攻分野）　（湘北短期大学）

（他の短期大学、専門職短期大学又は大学における授業科目の履修等）

第２２条　本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の短期大学、専門職短期大学又は大学において履修した授業科目について修得した単位を、３０単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　前項の規定は、学生が、外国の短期大学（専門職短期大学に相当する外国の短期大学を含む。以下この項において同じ。）又は大学に留学する場合、外国の短期大学又は大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の短期大学又は大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

（短期大学、専門職短期大学又は大学以外の教育施設等における学修）

第２３条　本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学、専門職短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

２　前項により与えることのできる単位数は、前条第１項（同条第２項において準用する場合を含む。）により修得したものとみなす単位数と合わせて３０単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位の認定）

第２４条　本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に短期大学、専門職短期大学又は大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生により修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第１項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

３　前２項により修得したものとみなし、又は単位を与えることのできる単位数は、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第２２条第１項及び第２３条第１項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて４５単位を超えないものとする。

第６章 入学、退学、転学及び休学

（入学の時期）

第２５条　入学の時期は、学年の始めとする。ただし、本学において必要と認め、教育上支障のないときは、学年の途中においても、学期の区分に従い入学させることがある。

（入学の資格）

第２６条　本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

一　高等学校又は中等教育学校を卒業した者

二　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）

三　外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

四　文部科学大臣の指定した者

五　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

六　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設において当該課程を修了した者

七　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

八　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達した者

（入学の出願）

第２７条　本学に入学を志願する者は、本学所定の出願書類に別表２に定める入学検定料を添えて提出しなければならない。

２　前項に定める出願書類の提出時期、方法及び同時に提出すべき書類等については別に定める。

３　第１項に定める入学検定料は、一般選抜において併願出願する場合には減免することがある。

（入学者選抜）

第２７条の２　入学者の選抜は、入学者受入れの方針に基づき、公正かつ妥当な方法により、適切な体制を整えて実施する。

２　前条の出願者については、「入学者選抜規程」に定めるところにより、選考を行う。

３　学長は、前項の選考の結果に基づき、教授会の審議を経て、合格者を決定する。

（再入学）

第２８条　願い出により本学を退学した者が、退学後２年以内に再入学を希望するときは、選考の上、再入学を許可することがある。

２　前項による再入学の許可並びに再入学する者の既に修得した授業科目、単位数の取扱い及び在学すべき年数は、教授会の審議を経て、学長が決定する。

３　再入学について必要な事項は、別に定める。

（転学科）

第２９条　他の学科に転学科を希望する学生があるときは、受け入れ学科に欠員のある場合に限り、選考の上、転学科を許可することがある。

２　転学科について必要な事項は、別に定める。

（転入学）

第３０条　本学に転入学を希望する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、転入学を許可することがある。

２　転入学について必要な事項は、別に定める。

（再入学、転学科、転入学の検定料）

第３０条の２　再入学、転学科又は転入学を希望する者は、それぞれ別表２に定める検定料を納入しなければならない。

（入学手続き等）

第３１条　本学の入学者選抜に合格した者で、入学の許可を得ようとする者は、指定の期日までに第３９条に定める学納金を納入するとともに、本学の指定する書類を提出しなければならない。

２　学長は、前項の手続きを完了した者に対し、入学を許可する。

（保証人の選任）

第３２条　入学手続きを行う者は、保証人を１名定め、本学の指定する入学手続き期間内に届け出なければならない。ただし、特段の事情があり、学長が認めた場合には、保証人の届け出を行わないことができる。

２　保証人は父母又は独立して生計を営む成人でなければならない。

３　保証人として不適当な事由が判明したときは、本学は保証人の変更を命じることができる。

４　保証人の届出事項に変更があったときは、速やかに届け出なければならない。

（保証人の責任）

第３２条の２　保証人は、第３９条の学納金について、保証する学生と連帯して納入の義務を負うものとする。

２　保証人は、保証する学生が本学に故意又は重大な過失により損害を与えた場合、当該損害について当該学生と連帯して賠償する責任を負うものとする。

（退学）

第３３条　退学しようとする学生は、その事由を詳記し、保証人連署の上、学長に願い出、その許可を得なければならない。やむを得ない事由により、本人の願い出ができない場合は、保証人がその事実を証する書類を提出するものとする。

２　退学を願い出る学生は、退学しようとする日を含む学期の授業料、施設設備費を納入していなければならない。

（転学）

第３４条　他の大学等へ転学を希望する学生は、保証人連署の上、学長に願い出、その許可を得なければならない。

（留学）

第３４条の２　本学が教育上有益と認めるときは、外国の大学又は短期大学との協定等に基づき、学生が当該大学又は短期大学に留学することを許可することができる。

２　前項の許可を受けて留学した期間は、第５条第１項に定める修業年限に算入する。

（休学）

第３５条　疾病その他止むを得ない事情により３ヶ月以上修学することができない学生は、保証人連署の上、学長に願い出、その許可を得て休学することができる。

２　前項の休学のうち疾病による場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

３　休学の始期は、学長が承認した各月の１日とする。

４　休学を終え復学しようとする学生は、保証人連署の上、学長に願い出、その許可を得なければならない。その場合において休学の理由が疾病にあった学生は、回復を証明する医師の診断書を添付しなければならない。

５　休学の終期は、学長が承認した各月の末日とする。

（休学の期間）

第３６条　休学の期間は、１年を超えることができない。ただし、特別の事由があると認められた学生は、引続き１年を限度として延長することができる。

２　休学の期間は、通算して２年を超えることができない。

３　休学の期間は、在学期間に算入しない。

（復学）

第３７条　休学期間が満了したとき、又は休学期間内であってもその事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

（除籍）

第３８条　次の各号の一に該当する学生は、教授会の審議を経て、学長が除籍する。

一　第５条第２項に規定する在学年限を超えた学生

二　長期間にわたり行方不明の学生

三　第３９条に定める学納金が未納入であり、督促を受けても期日までに納入しない学生

四　第３６条第２項に定める休学の期間を経て、なお復学できない学生

（復籍）

第３８条の２　前条第三号及び第四号により除籍された者が、除籍の日から２年以内に所定の授業料、施設設備費を添えて復籍を願い出たときは、教授会の審議を経て、学長がこれを許可することがある。

第７章 検定料・学納金及び奨学制度

（学納金）

第３９条　本学の入学登録料、授業料及び施設設備費（以下「学納金」という。）の金額は、別表２に定めるとおりとする。

２　学納金の納入時期、納入方法、納入猶予及び減額・免除並びに休退学等の場合の取扱い等については、「湘北短期大学学納金等に関する規程」（以下「学納金等規程」という。）に定める。

（科目等履修生の検定料、授業料）

第３９条の２　科目等履修生の検定料、授業料の金額は、別表３に定めるとおりとする。

（納入された検定料及び学納金）

第４０条　納入された検定料は返還しない。

２　納入された学納金は、「学納金等規程」に定めのある場合を除き返還しない。

（奨学制度）

第４０条の２　本学に奨学制度を設ける。

２　奨学制度に関して必要な事項は、別に定める。

第８章 教職員組織

（教職員）

第４１条　本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員を置く。

２　前項のほか、副学長を置くことができる。

（学長及び副学長）

第４１条の２　学長は、本学を代表し、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

２　副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

（指導補助者）

第４１条の３　本学は、当該授業科目を担当する教員以外の教員、学生その他の本学が定める者（以下「指導補助者」という。）に補助させることができ、また、十分な教育効果を上げることができると認められる場合は、当該授業科目を担当する教員の指導計画に基づき、指導補助者に授業の一部を分担させることができる。

第９章 教授会

（教授会）

第４２条　本学に、教授会を置く。

（教授会の構成）

第４３条　教授会は、学長及び教授をもって構成する。

２　第４１条第２項の規定により副学長を置く場合は、副学長を構成員に加えるものとする。

３　学長が必要と認めるときは、准教授、専任講師、助教及び助手を構成員に加えることができる。

４　学長が必要と認めるときは、教授会に構成員以外の者を出席させることができる。

（教授会の招集等）

第４４条　学長は、教授会を招集し、その議長となる。

２　学長に事故あるときは、副学長が招集し、その議長となる。

３　学長及び副学長がいずれも事故あるときは、あらかじめ学長が指名する者が招集し、その議長となる。

４　学長は、教授会の構成員（休職者、長期療養中の者及び長期旅行中の者で、あらかじめ学長に届け出た者を除く。以下同じ。）の３分の２以上から審議事項を付して要請があったときには、要請のあった日から７日以内に教授会を招集しなければならない。

（教授会の開催）

第４５条　教授会は、構成員の３分の２以上の出席がなければ、開催することができない。

（審議事項）

第４６条　教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一　学生の入学、卒業及び課程の修了

二　学位の授与

三　前２号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

２　教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ意見を述べるものとする。

（運営規程への委任）

第４７条 その他教授会の運営に関して必要な事項は、「教授会運営規程」に定める。

第１０章 科目等履修生及び外国人留学生

（科目等履修生）

第４８条　本学の学生以外の者で１又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

２　科目等履修生に対しては、第１３条及び第１７条の規定を準用して単位を与えることができる。

３　科目等履修生について必要な事項は、別に定める。

（特別聴講学生）

第４８条の２　他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）との協定等に基づき、本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、選考の上、特別聴講学生として入学を許可することがある。

２　特別聴講学生について必要な事項は、別に定める。

（外国人留学生）

第４９条　外国人で、短期大学等において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を希望する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

２　外国人留学生について必要な事項は、別に定める。

第１１章 賞罰

（表彰）

第５０条 学生として表彰に値する行為があったときは、学長が表彰することがある。

（罰則）

第５１条 この学則に違反し、また本学の学生としてあるまじき行為があったときは、教授会の審議を経て、学長が懲戒することができる。

２　前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

３　前項の退学の処分は、次の各号の一に該当する学生に対して行う

一　性行不良で改善の見込みがないと認められる学生

二　学力劣等で成業の見込みがないと認められる学生

三　正当の理由がなくて出席が常でない学生

四　大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した学生

４　懲戒の手続きについて必要な事項は、「学生懲戒規程」に定める。

第１２章 公開講座

（公開講座の開設）

第５２条 本学において必要と認めるときは、公開講座を開設することがある。

２　公開講座について必要な事項は、別に定める。

第１３章 図書館

（図書館）

第５３条 本学に図書館を置く。

２　図書館に関して必要な事項は、別に定める。

第１４章 厚生施設等

（厚生施設）

第５４条 本学に厚生補導のための施設として、保健室、食堂等を置く。

２ 厚生施設の運営に関して必要な事項があるときは、別に定める。

第１５章　その他

（改廃）

第５５条　この学則の変更は、理事会の議決により行う。ただし、学則の変更に係る業務のうち、寄附行為第１２条及び理事会規則第３条の規定に基づき理事会から理事長に委任された事項は、常勤理事会の議決により行う。

２　前項の規定により学則の変更を決定するときは、理事長は学長の意見を聴くものとする。

附則

１．この学則は、昭和４９年４月１日より施行する。

１．この学則は、昭和５０年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和５１年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和５２年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和５３年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和５４年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和５５年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和５６年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和５７年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和５８年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和５９年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和６０年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和６１年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和６２年４月１日より適用する。

１．この学則は、昭和６３年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成　元年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成　２年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成　３年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成　４年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成　５年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成　６年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成　７年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成　８年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成　９年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成１０年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成１１年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成１２年４月１日より適用する。

１．この学則は、平成１３年４月１日より施行する。

１．この学則は、平成１４年４月１日より施行する。ただし、施行日以前に在学中の者は、改正前の学則を適用する。

１．この学則は、平成１５年４月１日より施行する。ただし、平成１４年度以前に入学し、平成１５年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

２．第４条の規定に関わらず、平成１５年度の各学科の収容定員は次のとおりとする。

情報メディア学科　　１３０人　　電子情報学科１５０人

生活プロデュース学科１３５人　生活科学科　１５０人
保育学科　１００人　幼児教育科５０人
総合ビジネス学科　１３５人　商経学科１５０人

１．この学則は、平成１６年４月１日より施行する。ただし、平成１５年度以前に入学し、平成１６年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

１．この学則は、平成１７年４月１日より施行する。ただし、平成１６年度以前に入学し、平成１７年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

１．この学則は、平成１８年３月１日より施行する。

１．この学則は、平成１８年４月１日より施行する。ただし、平成１７年度以前に入学し、平成１８年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

１．この学則は、平成１９年４月１日より施行する。ただし、平成１８年度以前に入学し、平成１９年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

１．この学則は、平成２０年４月１日より施行する。ただし、平成１９年度以前に入学し、平成２０年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

１．この学則は、平成２１年４月１日より施行する。ただし、平成２０年度以前に入学し、平成２１年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

１．この学則は、平成２２年４月１日より施行する。ただし、平成２１年度以前に入学し、平成２２年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

１．この学則は、平成２３年４月１日より施行する。ただし、平成２２年度以前に入学し、平成２３年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

１．この学則は、平成２４年４月１日より施行する。ただし、平成２３年度以前に入学し、平成２４年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

１．この学則は、平成２５年４月１日より施行する。ただし、平成２４年度以前に入学し、平成２５年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

１．この学則は、平成２６年４月１日より施行する。ただし、平成２５年度以前に入学し、平成２６年４月１日現在在籍する学生については、入学年度の学則を適用する。

附則

この学則は、平成２７年４月１日より施行する。ただし、平成２６年度以前に入学し、平成２７年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。

附則

１　この学則は、平成２８年４月１日より施行する。ただし、平成２７年度以前に入学し、平成２８年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条、第１９条、第２１条の適用に

ついては、なお従前の例による。

２　第４条の規定にかかわらず、平成２９年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学科名	平成２８年度 収容定員	平成２９年度 収容定員
情報メディア学科	１００名	０名
総合ビジネス学科	１４０名	０名
生活プロデュース学科	２８０名	２８０名
保育学科	２４０名	２４０名
総合ビジネス・情報学科	２２０名	４４０名

３　情報メディア学科、総合ビジネス学科については、当該学科に在籍する者が、在籍しなくなる日までの間、存続するものとする。

附則

１　この学則は、平成２９年４月１日より施行する。ただし、平成２８年度以前に入学し、平成２９年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。

２　第４条の規定にかかわらず、平成２９年度の収容定員は、次のとおりとする。

学科名	平成２９年度 収容定員
総合ビジネス・情報学科	４４０名
生活プロデュース学科	２６５名
保育学科	２５５名
情報メディア学科	０名
総合ビジネス学科	０名

３　情報メディア学科、総合ビジネス学科については、当該学科に在籍する者が、在籍しなくなる日までの間、存続するものとする。

附則

１．この学則は、平成２９年５月２６日より施行し、平成２９年４月１日より適用する。

２．情報メディア学科は、在籍者がいなくなったので、平成２９年３月３１日をもって廃止する。

附則

１　この学則は、平成３０年４月１日より施行する。ただし、平成２９年度以前に入学し、平成３０年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。

２　第４条の規定にかかわらず、平成３０年度の収容定員は、次のとおりとする。

学科名	平成３０年度 収容定員
総合ビジネス・情報学科	４４０名
生活プロデュース学科	２５０名
保育学科	２７０名
総合ビジネス学科	０名

附則

１．この学則は、平成３０年１０月８日より施行し、平成３０年８月２１日より適用する。

２．総合ビジネス学科は、在籍者がいなくなったので、平成３０年８月２０日をもって廃止する。

附則

１　この学則は、平成３１年４月１日より施行する。ただし、平成３０年度以前に入学し、平成３１年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。

附則

１　この学則は、２０１９年１０月１日から施行し、２０１９年４月１日から適用する。

附則

１　この学則は、２０２０年４月１日より施行する。ただし、２０１９年度以前に入学し、２０２０年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。

附則

１　この学則は、２０２１年４月１日より施行する。ただし、２０２０年度以前に入学し、２０２１年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。

附則

１　この学則は、２０２２年４月１日より施行する。ただし、２０２１年度以前に入学し、２０２２年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。

附則

１　この学則は、２０２３年４月１日より施行する。

ただし、２０２２年度以前に入学し、２０２３年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。

附則

１　この学則は、２０２３年６月１日より施行する。

附則

１　この学則は、２０２４年４月１日より施行する。

ただし、２０２３年度以前に入学し、２０２４年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。

附則

１　この学則は、２０２５年４月１日より施行する。

ただし、２０２４年度以前に入学し、２０２５年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。

２　第４条の規定にかかわらず、２０２５年度の収容定員は、次のとおりとする。

学科名	２０２５年度 収容定員
総合ビジネス・情報学科	４４０名
生活プロデュース学科	２１５名
保育学科	２４５名

【別表１－Ⅰ　総合ビジネス・情報学科　教育課程表】

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	備考
専門科目	商品・流通の基礎Ⅰ	2		2	
	ビジネス社会の基礎Ⅰ	2		2	
	企業と財務の基礎Ⅰ	2		2	
	プレゼミナール	1		1	
	ゼミナールⅠ	1		1	
	ゼミナールⅡ	1		1	
	ゼミナールⅢ	1		1	
	情報科学の基礎	2		2	
	商品・流通の基礎Ⅱ		2	2	
	ビジネス社会の基礎Ⅱ		2	2	
	企業と財務の基礎Ⅱ		2	2	
	ビジネス文書演習		1	1	
	情報システム		2	2	
	初級簿記Ⅰ		2	2	
	初級簿記Ⅱ		2	2	
	ビジネス会計論		2	2	
	企業評価論		2	2	
	調剤事務入門		2	2	
	販売士総論Ⅰ		2	2	
	販売士総論Ⅱ		2	2	
	接客サービス論Ⅰ		2	2	
	接客サービス論Ⅱ		2	2	
	ビジネスマナーの基礎		2	2	
	情報プレゼンテーションの基礎		1	1	
	世界遺産論		2	2	
	イングリッシュ・リーディングⅠ		1	1	
	イングリッシュ・リーディングⅡ		1	1	
	プログラミング基礎演習		2	2	
	情報デザイン		2	2	
	WEB基礎		1	1	
	ＩＴパスポート（技術・管理）		2	2	
	経営リーダーの知恵に学ぶ		2	2	
	キャリアビルディングのためのマーケティング		2	2	
	ビジネス能力		2	2	
	デスクワーク入門		2	2	
	デスクワーク演習		1	1	
	ビジネスマナー入門		2	2	
	人事のしくみ		2	2	
	現代ビジネス事情		2	2	
	データ分析演習		1	1	
	事務職のためのＡＩ活用（ＶＢＡ）		2	2	
	ＭＯＳ実践		2	2	
	オペレーションズリサーチ		2	2	
	商業簿記		2	2	
	中級簿記		2	2	
	上級簿記		2	2	
	工業簿記		2	2	
	原価計算論		2	2	
	金融経済入門		2	2	
	ＦＰ基礎論		2	2	
	ＰＣ経理実務		2	2	
	ＦＰ実践		2	2	
	マーケティング論		2	2	

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	備考
専門科目	マーケティング戦略論		2	2	
	消費者行動論		2	2	
	ショップマネジメント論		2	2	
	広告デザイン論		2	2	
	商品・販売企画論		2	2	
	ファッション販売論		2	2	
	ファッションコーディネート演習		1	1	
	ビジネスマナー演習		1	1	
	コミュニケーション総論		2	2	
	秘書ビジネス論		2	2	
	オフィスワーク演習		1	1	
	オフィスプレゼンテーション		1	1	
	現代社会コミュニケーション論		2	2	
	組織心理学		2	2	
	言語表現とコミュニケーション		2	2	
	観光概論		2	2	
	観光ビジネス論		2	2	
	ホスピタリティー論		2	2	
	イングリッシュ・コミュニケーション		2	2	
	観光英会話		1	1	
	イングリッシュ・プレゼンテーション		1	1	
	オーストラリア研究		2	2	
	旅程管理特講		2	2	
	観光地理		2	2	
	旅行業約款		2	2	
	旅行業法		2	2	
	国内旅行実務		2	2	
	実用英会話Ⅰ（R）		2	2	
	実用英会話Ⅱ（R）		2	2	
	実用英作文（R）		2	2	
	時事英語（R）		2	2	
	比較文化（R）		2	2	
	海外ボランティア演習（R）		1	1	
	プログラミング応用演習		1	1	
	組み込みプログラミング演習		1	1	
	Ｊａｖａプログラミング演習		2	2	
	Ｌｉｎｕｘ		2	2	
	ゲームデザイン		2	2	
	社会人のためのＡＩ活用入門		2	2	
	社会で役立つプログラミング思考		2	2	
	基本情報		2	2	
	情報処理システム		2	2	
	プロジェクトマネージメント		2	2	
	システム開発		2	2	
	情報セキュリティ		2	2	
	Ｉｏ Ｔ		2	2	
	プロジェクト実践Ⅰ		2	2	
	プロジェクト実践Ⅱ		2	2	
	プロジェクト実践Ⅲ		2	2	
	プロジェクト実践Ⅳ		2	2	
	デザイン論		2	2	
	コンピュータ基礎		2	2	
	ビジュアルコミュニケーション		2	2	
	映像表現		2	2	
	データ活用		2	2	

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	備考
専門科目	ＣＧ基礎		1	1	
	ＣＧ理論		2	2	
	ＣＡＤ概論		2	2	
	ＷＥＢプログラミング		2	2	
【小計】		12	191	203	
【総合計】		12	191	203	

【別表１－Ⅱ　生活プロデュース学科　教育課程表】

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	備考
専門科目	ライフスタイルマネジメントの基礎	2		2	
	生活とＳＤＧｓ	2		2	
	くらしの中のDX	2		2	
	ライフキャリアプランニング	1		1	
	オフィスワーク演習	1		1	
	ゼミナールⅠ	2		2	
	ゼミナールⅡ	1		1	
	ライフスタイルマネジメント	2		2	
	ラッピングコーディネート演習		1	1	
	現代女性の社会学		2	2	
	サービス介助演習		1	1	
	接客サービス特講		2	2	
	ＳＤＧｓと社会デザイン		2	2	
	色彩学		2	2	
	ファッション販売論		2	2	
	パーソナルカラー入門		1	1	
	テキスタイルの基礎		2	2	
	メイク理論		2	2	
	子供服と小物の演習		1	1	
	ファッションデザイン論		2	2	
	ファッションビジネス論		2	2	
	ブライダルコーディネーションⅠ		2	2	
	アパレルメイキング演習		1	1	
	ファッションコーディネート演習		1	1	
	ファッションデザイン演習		1	1	
	ファッションと心理		2	2	
	アパレル企画論		2	2	
	ファッションプロデュース		1	1	
	リビングケア		2	2	
	ブライダルコーディネーションⅡ		2	2	
	食生活と健康		2	2	
	クッキングⅠ		2	2	
	フードコーディネート基礎		2	2	
	栄養学		2	2	
	クッキングⅡ		2	2	
	食空間プランニング		2	2	
	健康科学		2	2	
	食の情報発信		2	2	
	食空間コーディネート		1	1	
	ライフステージと食物		2	2	
	食の企画		1	1	
	食品と調理		2	2	
	食品衛生学		2	2	
	インテリア計画		2	2	
	インテリアコーディネーションⅠ		1	1	
	インテリア実技		1	1	
	インテリアコーディネーションⅡ		1	1	
	住まいの計画		2	2	
	福祉住環境入門		1	1	

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	備考
専門科目	ＣＡＤ入門		1	1	
	インテリア雑貨とファニチャーデザイン		1	1	
	インテリア構法		2	2	
	ディスプレイ・収納計画演習		1	1	
	環境と暮らし		2	2	
	キッズスペース論		2	2	
	子どもと福祉		2	2	
	心理学		2	2	
	子どものワークショップ演習Ⅰ		1	1	
	子どものワークショップ演習Ⅱ		1	1	
	チャイルドケア論		2	2	
	自己理解の心理学		2	2	
	創作絵本の制作		1	1	
	子ども・教育・社会		2	2	
	子どものワークショップ演習Ⅲ		1	1	
	子どものワークショップ演習Ⅳ		1	1	
	発達心理学		2	2	
	ユニバーサルファッションの演習		1	1	
	家族援助論		2	2	
	ヘルスケア業界研究		2	2	
	コンピュータ演習		1	1	
	からだのしくみと機能		2	2	
	医療福祉関連の接遇とコミュニケーション		1	1	
	医療事務（メディカルクラーク）Ⅰ		2	2	
	医療事務（メディカルクラーク）Ⅱ		2	2	
	医療事務（メディカルクラーク）Ⅲ		1	1	
	調剤事務		2	2	
	医療関連法規		2	2	
	医療事務コンピュータ演習Ⅰ		1	1	
	医療事務コンピュータ演習Ⅱ		1	1	
	診療報酬基礎		1	1	
	公衆衛生		2	2	
	ケアマネジメント概論		2	2	
【小計】		13	119	132	
【総合計】		13	119	132	

【別表１－Ⅲ　保育学科　教育課程表】

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	教職免許必修	保育士必修	備考
保健体育	体育実技／理論	2		2	○	○	
	【小計】	2	0	2			
専門科目	日本国憲法		2	2	○	○	
	保育のためのＩＣＴ・ＤＸ入門Ⅰ	1		1	○	△	
	保育のためのＩＣＴ・ＤＸ入門Ⅱ	1		1	○	△	
	現代の人間関係分析		2	2		△	
	社会福祉	2		2		○	
	子ども家庭福祉	2		2		○	
	保育原理	2		2		○	
	社会的養護Ⅰ	2		2		○	
	教育原理	2		2	○	○	
	教職概論		2	2	○	□	
	保育者論	2		2		○	
	教育の制度と経営		2	2	○		
	保育の心理学	2		2	○	○	
	子どもの理解と援助	1		1		○	
	子ども家庭支援の心理学		2	2		○	
	子どもの保健	2		2		○	
	子どもの健康と安全		1	1		○	
	子どもの食と栄養		2	2		○	
	子ども家庭支援論		2	2		○	
	青年心理学		2	2		□	
	保育・教育課程論		2	2	○	○	
	保育内容総論		2	2	○	○	
	健康の指導		1	1	○	○	
	環境の指導		1	1	○	○	
	人間関係の指導		1	1	○	○	
	言葉の指導		1	1	○	○	
	表現の指導		1	1	○	○	
	乳児保育Ⅰ	2		2		○	
	乳児保育Ⅱ		1	1		○	
	地域子育て支援論		1	1		□	
	特別支援教育（障害児保育を含む）		2	2	○	○	
	社会的養護Ⅱ		1	1		○	
	表現の指導（造形）		1	1		○	
	児童文化		2	2		□	
	教育方法論		2	2	○		
	幼児の理解と相談		2	2	○		
	子育て支援		1	1		○	
	造形表現	2		2	○	○	
	造形表現Ⅱ		1	1		□	
	身体表現	2		2	○	○	
	音楽実技Ⅰ	2		2		○	
	身体表現Ⅱ		1	1		□	
	音楽表現		2	2	○	○	
	音楽実技Ⅱ		2	2		□	
	保育・教職実践演習（幼稚園）		2	2	○	○	
	教育実習		4	4	○		
	教育実習指導		1	1	○		
	保育実習Ⅰ（保育所）		2	2		○	
	保育実習Ⅰ（施設）		2	2		○	
	保育実習指導Ⅰ		2	2		○	
	保育実習Ⅱ		2	2		◎	

区分	授業科目	必修 単位数	選択 単位数	合計 単位数	教職免許 必修	保育士 必修	備考
専門科目	保育実習指導Ⅱ		1	1		◎	
	保育実習Ⅲ		2	2		■	
	保育実習指導Ⅲ		1	1		■	
	保育実践研究	2		2			
	進路・生活指導	1		1			
【小計】		30	64	94			
【総合計】		32	64	96			

備考：保育士資格取得には□科目から２単位以上、
◎科目（２科目）または■科目（２科目）から３単位以上
△科目（４科目（リベラルアーツ科目含む））から２単位以上選択必修

【別表１－Ⅳ　リベラルアーツ科目　教育課程表】

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	備考
リベラルアーツ科目	日本語リテラシーⅠ		2	2	
	日本語リテラシーⅡ	2		2	保育士必修
	情報リテラシー（データサイエンス入門）		2	2	
	生涯スポーツと健康Ⅰ		1	1	
	生涯スポーツと健康Ⅱ		1	1	
	湘北スタートアップセミナー		1	1	
	生活に役立つ教養とSDGs		2	2	
	ビジネスに役立つ教養とDX		2	2	
	社会生活のための基礎知識		2	2	
	日本語コミュニケーション		2	2	
	現代社会と倫理		2	2	保育士選択必修
	社会と環境		2	2	
	メディア論		2	2	
	ファッション文化論		2	2	
	日本の食文化		2	2	
	住環境デザイン		2	2	
	体験から学ぶ身近な心理学		2	2	
	いのちをめぐる科学技術		2	2	
	湘北リベラルアーツⅠ		2	2	
	湘北リベラルアーツⅡ		2	2	
	暮らしの中のテクノロジー		2	2	
	ＳＮＳとダイバーシティ		2	2	
【小計】		2	39	41	
【総合計】		2	39	41	

【別表１－Ⅴ　国際理解科目　教育課程表】

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	備考
国際理解科目	ジェネラル・イングリッシュⅠ		1	1	
	ジェネラル・イングリッシュⅡ		1	1	
	英語		2	2	保育士必修
	エッセンシャル・イングリッシュ		1	1	
	イングリッシュ・ライティング		2	2	
	アドヴァンス・イングリッシュⅠ		1	1	
	アドヴァンス・イングリッシュⅡ		1	1	
	ＴＯＥＩＣ（初級）		1	1	
	ＴＯＥＩＣ（中級）		1	1	
	海外研修		2	2	
	中国語（基礎）		1	1	
	中国語（実践）		1	1	
	韓国語		1	1	
	ベーシック・ビジネス英語		2	2	
【小計】		0	18	18	
【総合計】		0	18	18	

【別表１－Ⅵ　インターンシップ科目　教育課程表】

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	備考
インターンシップ科目	春季インターンシップ（長期）		2	2	
	春季インターンシップ（短期）		1	1	
	夏季インターンシップ（長期）		2	2	
	夏季インターンシップ（短期）		1	1	
	インターンシップリテラシー		1	1	
	インターンシップティーチング		1	1	
【小計】		0	8	8	
【総合計】		0	8	8	

【別表１－Ⅶ　就業力育成科目　教育課程表】

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	備考
就業力育成科目	私のキャリアデザイン		2	2	
	キャリアベーシック（ＳＰＩ）		2	2	
	私の就職活動プランニング		1	1	
	キャリアブラッシュアップ		2	2	
	基礎教養のための数学演習		1	1	
	仕事に役立つPC演習（基礎）		1	1	
	仕事に役立つPC演習（応用）		1	1	
	証券外務実践		2	2	
	PC活用ベーシックⅠ		1	1	
	PC活用ベーシックⅡ		1	1	
【小計】		0	14	14	
【総合計】		0	14	14	

【別表１－Ⅷ　日本語科目　教育課程表】

区分	授業科目	必修単位数	選択単位数	合計単位数	備考
日本語科目	日本語		2	2	
	日本事情Ⅰ		2	2	
	日本事情Ⅱ		2	2	
【小計】		0	6	6	
【総合計】		0	6	6	

別表２　（第３０条の２、第３９条関係）

【検定料】

入学検定料	30,000
再入学検定料	3,000
転入学検定料	5,000
転学科検定料	5,000

【学納金】

	入学登録料	授業料（年額）	施設設備費（年額）
総合ビジネス・情報学科	300,000	850,000	230,000
生活プロデュース学科	300,000	850,000	230,000
保育学科	300,000	920,000	230,000

別表３（第３９条の２関係）

【科目等履修生検定料・授業料】

科目等履修生検定料	5,000

	講義科目	演習科目	実験・実習科目
授業料（１単位につき）	15,000	30,000	45,000

（単位：円）

学則の変更事項を記載した書類

１．名　　称　　湘北短期大学

２．変 更 事 項　　生活プロデュース学科及び保育学科の入学及び収容定員

学科名	２０２４年度 入学定員	２０２５年度 入学定員
生活プロデュース学科	１２５名	９０名
保育学科	１３５名	１１０名

学科名	２０２４年度 収容定員	２０２５年度 収容定員
生活プロデュース学科	２５０名	１８０名
保育学科	２７０名	２２０名

３．変更の時期　　２０２５年４月１日

以 上

２０２５年度湘北短期大学学則（案）新旧対照表

《本文》

<table>
<tr><th>改正案（２０２５年度）</th><th>現行（２０２４年度）</th></tr>
<tr><td>（学科及び収容定員）
第４条　本学において設置する学科及び収容定員は、次のとおりとする。
学科　入学定員　収容定員
総合ビジネス・情報学科　２２０人　４４０人
生活プロデュース学科　９０人　１８０人
保育学科　１１０人　２２０人

附則
１　この学則は、２０２５年４月１日より施行する。ただし、２０２４年度以前に入学し、２０２５年４月１日現在在籍する学生にかかわる第１０条の適用については、なお従前の例による。
２　第４条の規定にかかわらず、２０２５年度の収容定員は、次のとおりとする。
<table><tr><th>学科名</th><th>２０２５年度収容定員</th></tr><tr><td>総合ビジネス・情報学科</td><td>４４０名</td></tr><tr><td>生活プロデュース学科</td><td>２１５名</td></tr><tr><td>保育学科</td><td>２４５名</td></tr></table></td><td>（学科及び収容定員）
第４条　本学において設置する学科及び収容定員は、次のとおりとする。
学科　入学定員　収容定員
総合ビジネス・情報学科　２２０人　４４０人
生活プロデュース学科　１２５人　２５０人
保育学科　１３５人　２７０人</td></tr>
</table>

以　上

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア．学則変更（収容定員変更）の内容

湘北短期大学は、令和７年度から、生活プロデュース学科、保育学科の入学定員を以下のとおり変更する。

学　科	（現）令和６年度迄	（新）令和７年度から	
	入学定員	入学定員	増減
生活プロデュース学科	125	90	－35
保育学科	135	110	－25
総合ビジネス・情報学科	220	220	±0
計	480	420	－60

※移行期間となる令和７年度の収容定員　900 名

（総合ビジネス・情報学科 440 名、生活プロデュース学科 215 名、保育学科 245 名）

イ．学則変更（収容定員変更）の必要性

学校法人ソニー学園は、昭和 39 年にソニー株式会社の寄附により設立され、翌昭和 40 年 4 月に「ソニー学園厚木高等学校」を開校し（昭和 51 年閉校)、昭和 49 年 4 月に「湘北短期大学」を開設した。

湘北短期大学は、昭和 49 年に電子工学科（平成 15 年度、情報メディア学科に名称変更)、生活科学科（平成 15 年度、生活プロデュース学科に名称変更）の 2 学科で開学し、昭和 54 年に幼児教育科（平成 15 年度、保育学科に名称変更)、昭和 60 年に商経学科（平成 15 年度、総合ビジネス学科に名称変更）を開設した。その後、平成 28 年度に総合ビジネス・情報学科を開設（情報メディア学科は平成 29 年 3 月に廃止。総合ビジネス学科は平成 30 年 8 月に廃止）した。

開学以来、社会の要請に応じて開設学科、学科名称を変更してきたが、一貫して、教育の理念である「社会でほんとうに役立つ人材を育てる」を実現するため、しっかりとした基礎能力と専門知識の修得に加え、社会を力強く生きていくための人間力の向上を重視した教育を行い、2 万 3 千名余の有為な人材を社会に送り出してきた。

これまで学生募集は、おおむね順調に推移してきたが、近年の短期大学全体を取巻く社会情勢の変化等により、ここ数年、定員未達の状況が生じている。

係る状況下、定員の適正化を図るため、生活プロデュース学科と保育学科の定員変更（減）を行うこととした。

ウ．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

今回の定員変更に際し、生活プロデュース学科及び保育学科の教育課程の変更は予定していない。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

今回の定員変更に際し、生活プロデュース学科及び保育学科の教育方法及び履修指導方法の変更は予定していない。

（ウ）教員組織の変更内容

生活プロデュース学科の基幹教員の人数は、文部科学省短期大学設置基準（7 名）を上回る８名（令和６年度）を配置している。定員減を行う令和７年度以降は短期大学設置基準（７名）を満たす７名を配置する。

保育学科の基幹教員の人数は、短期大学設置基準（10 名）及び厚生労働省指定保育士養成施設指定基準（10 名）を上回る 11 名（令和６年度）を配置している。定員減を行う令和７年度以降も同様に 11 名を配置する。

（エ）大学全体の施設・設備の変更内容

今回の定員変更に際し、生活プロデュース学科及び保育学科とも施設・設備の変更は予定していない。

以上の事由に基づき、湘北短期大学の収容定員に係る学則変更を届け出るものである。

学生の確保の見通し等を記載した書類

【目次】

内容

（１）新設組織の概要.....2
①新設組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）.....2
②新設組織の特色.....2
（２）人材需要の社会的な動向等.....3
①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析.....3
②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析.....6
③新設組織の主な学生募集地域.....7
④既設組織の定員充足の状況.....8
（３）学生確保の見通し.....11
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果.....11
ア　既設組織における取組とその目標.....11
イ　新設組織における取組とその目標.....11
ウ　当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数.....12
②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）.....12
ア　競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性.....12
イ　競合校の入学志願動向等.....13
ウ　新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）.....15
エ　学生納付金の金額設定の理由.....16
③先行事例分析.....18
④学生確保に関するアンケート調査.....18
⑤人材需要に関するアンケート調査等.....19
（４）新設組織の定員設定の理由.....21

（１）新設組織の概要

①新設組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）

新設組織	入学定員	収容定員	所在地
湘北短期大学 生活プロデュース学科	90	180	神奈川県厚木市温水 428
湘北短期大学保育学科	110	220	

②新設組織の特色

＜生活プロデュース学科＞

生活プロデュース学科では、ライフスタイルをプロデュースして、自分らしく生きがいのある未来の暮らしを作り、社会で活躍・貢献できる豊かな人間性と特長のある人材を育成することを目的としている。人の暮らしに近い「衣・食・住」をはじめ、「健康」や「家族」に関わる多彩な科目や自由度の高いカリキュラムを通じて、専門的な知識、コミュニケーション力、ビジネスマナー及びパソコンスキルを身につけ、資格取得や検定に加えて、インターンシップやボランティアなどの実践的な経験を経て社会で活躍・貢献できる人材の育成を推進している。

＜保育学科＞

保育学科では、幼稚園・保育所、認定こども園、その他の施設において、人間形成に重要な幼児期からの保育・教育に携わる保育者として、豊かな人間性、専門性、責任感や信頼感を併せ持つ人材の育成を目的としている。「徹底した実習指導」「独自の表現活動」「教員の個別指導」を特長として、保育現場で必要とされる「実践力」「表現力」「コミュニケーション力」を身につけることに力を入れている。卒業生のほぼ全員が、2 年間で幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格を同時に取得する。卒業後は免許・資格を生かした保育専門職としての就職が圧倒的で、昭和 54 年の学科開設以降、これまで約 4,300 名の卒業生を輩出し、地元神奈川県内の幼稚園・保育所、認定こども園を中心に就職し、活躍している。これら卒業生が得た評価は、本学と多くの園との信頼関係構築に結びついており、学生の実習受け入れや就職により好循環が形成され、本学の教員が、保育現場で求められている内容を意識して学生指導に生かす機会となっている。本学科では、保育を学ぶ充実した学修環境と園での現場体験などを通じて、保育現場から求められている高い資質と、生涯にわたり学び成長し続ける力を持つ保育者を養成する期待に応えている。

（２）人材需要の社会的な動向等

①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

別紙１の「新設組織がおかれる都道府県の定員充足状況」（出典：日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」）から神奈川県における定員の充足率は直近３年（令和３年度～令和５年度）で 20.85 ポイント減少している。また、別紙１の「新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況」（出典：日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」）から神奈川県における家政系と教育系の定員充足率は直近３年（令和３年度～令和５年度）でそれぞれ 10.56 ポイント、10.62 ポイント減少している。新設組織における人材需要については以下のように考えている。

＜生活プロデュース学科＞

生活プロデュース学科卒業生の過去５年（平成 30 年度～令和４年度）の就職率を資料 2-1 に示す。平均就職率は 96.7%、さらに直近３年（令和２年度～令和４年度）の平均就職率は 97.3%と 0.6 ポイント上昇している。コロナ禍における社会情勢の変化に翻弄されることなく、着実に実績を残している。就職先は、各コースの専門性を生かせる業種に限らず、販売業や製造業、サービス業など、幅広い進路となっている。過去５年の卒業生の主な職種は、販売職 32.4%、事務職 41.0%、サービス職 19.4%である。本学科の卒業生は、社会からの幅広い人材の要請に対応しており、今後とも就職先の確保は十分可能であると考える。

（資料 2-1）生活プロデュース学科　就職率推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
就職者数	97	101	119	108	102
就職希望者数	100	107	124	108	106
就職率	97.0%	94.4%	97.5%	100%	95.2%

出典：本学調べ

＜保育学科＞

資料 2-2 に示すとおり、過去５年（平成 30 年度～令和４年度）の幼稚園・保育所からの求人件数は平均 667 件（約 80%が神奈川県内の求人）で、学科定員の約５倍弱の求人がある。過去５年（平成 30 年度～令和４年度）の保育学科卒業生は、資料 2-3 に示すとおり、ほぼ全員が幼稚園教諭二種免許・保育士資格を取得し、免許・資格を生かした幼稚園・保育所等への就職率は資料 2-4 に示すとおり、過去５年 95.6%～98.5%、平均は 97.4%と高い水準にある。また、資料 2-5 に示したとおり、神奈川県が令和５年６月 19 日に発表した「保育所等利用待機児童数の状況について」の資料から、神奈川県では保育所の利用率が年々増加しており、待機児童の減少に向けて

保育所等数の整備・拡充を進めるとともに、保育所の整備によって顕在化している保育士不足解消への取り組みを行政として進めることが示されている。これらの状況から、今後も幼稚園・保育所、その他福祉施設等からの求人に貢献するとともに、質の高い保育者の輩出への期待にも応えることができると考える。

（資料 2-2）幼稚園・保育所などからの求人件数

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	平均
幼稚園	212	218	188	204	128	190
保育所	353	359	339	316	318	337
認定こども園	53	59	52	61	61	57
公立保育所	35	40	49	36	39	40
その他(施設等)	50	46	46	35	36	43
求人件数計	703	722	674	652	582	667
神奈川県内求人	561	577	543	532	467	536
神奈川県内 求人比率	79.8%	79.9%	80.6%	81.6%	80.2%	80.4%

出典：本学調べ

（資料 2-3）保育学科　資格・免許取得状況

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
定員数	135	135	135	135	135
卒業者数	128	133	135	143	120
①保育士資格取得者	127	132	132	143	118
取得率	99.2%	99.2%	97.8%	100%	98.3%
②幼稚園教諭二種免許取得者	127	132	131	138	117
取得率	99.2%	99.2%	97.0%	96.5%	97.5%

出典：本学調べ

（資料 2-4）保育学科　就職率

		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
教育・保育職計	就職者数	124	131	129	140	118
	就職率	96.9%	98.5%	95.6%	97.8%	98.3%
一般企業	就職者数	3	2	3	2	1
進学		0	0	0	0	0
その他		1	0	3	1	1
卒業者数		128	133	135	143	120

出典：本学調べ

（資料 2-5）神奈川県　令和 5 年 6 月 19 日発表資料

保育所等利用待機児童数の状況について

ー令和5年4月1日現在の集計結果をとりまとめましたー

2023年06月19日

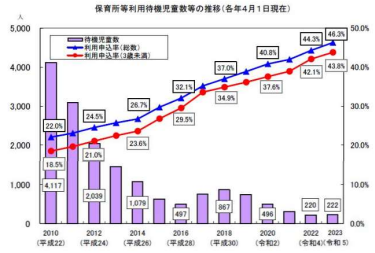
記者発表資料

令和5年4月1日現在の県内の保育所等利用待機児童数は222人（前年比＋2人）となりました。

1　待機児童数の状況

就学前児童数に対する保育所等の利用申込者数の割合を示す「利用申込率」は、全体（46.3%）、3歳未満（43.8%）とも過去最高となり、保育所等利用待機児童数は222人（前年比＋2人、＋0.9%）となりました。（別紙参照：保育所等利用申込・入所待機状況等（PDF：437KB））

保育所等利用待機児童数等の推移（各年4月1日現在）



（注1）平成 27 年度から認可保育所のほか、認定こども園・地域型保育事業（小規模保育、家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育）の利用児童を含む。

（注2）平成 29 年度に国の待機児童の定義が変更され、平成 30 年度から全市町村で適用されている。

2　保育所等数・定員数の状況

約2,000人の保育所等定員増

令和5年4月1日現在の県内の保育所等数・定員数は、保育所等（保育所・認定こども園・小規模保育事業等）の整備により、2,750か所（前年比51か所増、＋1.9%）、179,416人（前年比2,141人増、＋1.2%）となりました。

保育所等数・定員数の推移（各年４月１日現在）

（注）定員数・保育所等数とも、平成 27 年度から認可保育所のほか、認定こども園・地域型保育事業（小規模保育、家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育）の箇所数・定員数を含む。

3　今後の取組み

本県では、認可保育所等に対する潜在的ニーズも根強いことから、引き続き市町村と連携して保育所等の整備を進め、定員を拡充して保育ニーズの受け皿の確保に努めてまいります。

併せて、保育所の整備に伴って顕在化している保育士不足への対応として、県独自の地域限定保育士試験などによる新規保育士の確保、保育士・保育所支援センターによる就職相談などによる潜在保育士の職場復帰支援、保育士の処遇改善や保育補助者の活用などによる現任保育士の就業継続支援の3つの取組みにより、保育士確保に努めてまいります。

また、保育の質の維持・向上を図るため、一定の技能・経験を有した者に対する研修を実施し、保育士等のキャリアアップを支援するとともに、認可外保育施設に対し事故防止の取組みに関する助言を行う巡回指導及び指導監督基準を満たすために必要な助言を行うフォローアップ指導による支援を行ってまいります。

（1）保育所等の整備への支援

令和5年度当初予算における保育所等整備費補助　8億8,892万円

○167か所、約4,100人定員増

（内訳）
認可保育所の整備　110か所　約3,350人増
小規模保育事業所の整備　31か所　約590人増
認定こども園の整備　26か所　約160人増
（注釈）国の交付金等を活用した保育所等整備分を含む

（2）保育士確保の取組み

ア　国家戦略特区を活用した県独自の地域限定保育士試験の実施

イ　保育士養成施設に入学した学生を対象とした修学資金や、潜在保育士の就職準備金の貸付

ウ　かながわ保育士・保育所支援センターによる潜在保育士の職場復帰支援

（ア）就職相談・あっせん
（イ）就職支援セミナー・就職相談会の開催

エ　配置基準外の短時間勤務の保育士の雇用を支援する市町村への補助

オ　保育士資格を持たない短時間勤務の保育補助者の雇用を支援する市町村への補助

（3）保育の質の維持・向上の取組み

ア　保育エキスパート等の養成

イ　認可外保育施設における事故防止等を目的とする巡回指導・フォローアップ指導の実施

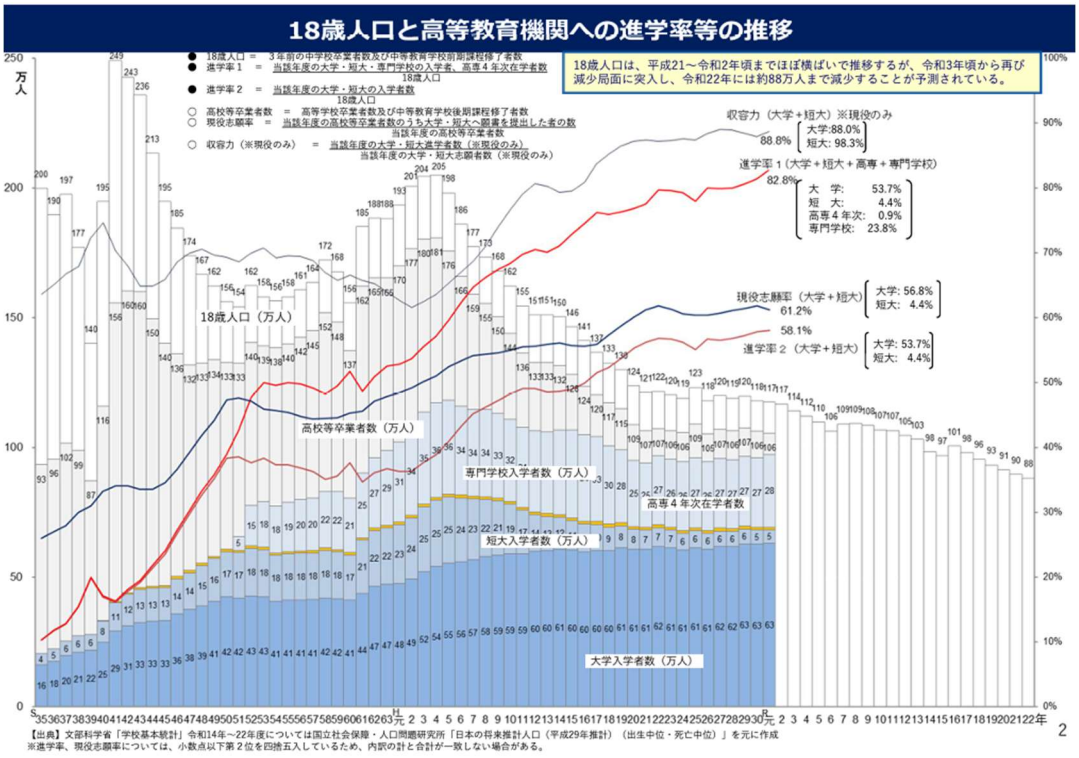
出典：神奈川県ホームページ

②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

資料 2-6 の「18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」に示すとおり、全国における令和元年度の 18 歳人口 117 万人のうち短期大学入学者は 5 万人で、減少傾向は続いている。また、短期大学への進学率は 4.4%である。

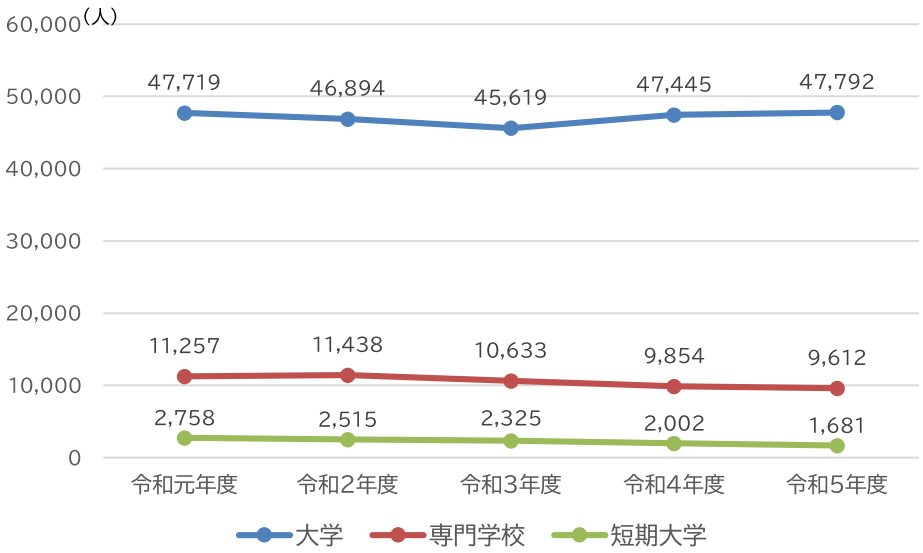
資料 2-7 の「神奈川県内の大学・専門学校・短期大学への入学者数の推移」に示すとおり、短期大学への入学者数は減少傾向が続き、特に直近の 2 年（令和 4 年度、令和 5 年度）は前年度に比べ約 320 名（約 15%）ずつ減っており、入学者数の減少幅が大きくなっている。また、神奈川県内の高校卒業生の短大進学率は、令和元年度の 3.7%から令和 5 年度には 2.5%と 1.2 ポイントも減少している。全国および所在地域の短期大学の置かれた状況を踏まえ、生活プロデュース学科と保育学科の定員を適正化（減員）し、入学定員の充足を図る。

（資料 2-6）18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移



出典：文部科学省「学校基本統計」

（資料 2-7）神奈川県内の大学・専門学校・短期大学入学者数の推移



出典：文部科学省「学校基本調査」

③新設組織の主な学生募集地域

資料 2-8 の「神奈川県内短期大学入学者の出身高校都道府県別の入学者数」に示すとおり、神奈川県内の短期大学の入学者の約 70%は、県内の高等学校出身者が占めている。さらに、資料 2-9 の「本学の出身高校所在地都道府県別の入学者数」に示すとおり、神奈川県内の高校からの本学への入学者比率は 90%に近い数値であり、本学の所在地（神奈川県厚木市）や過去 5 年の傾向から、入学者の 90%以上は、今後も神奈川県を中心とした近隣の東京都、静岡県の高校の出身者が占めると見込まれる。

（資料 2-8）神奈川県内短期大学の出身高校所在地都道府県別の入学者数

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	過去 5 年の平均構成比
神奈川県	1,907 人	1,712 人	1,611 人	1,442 人	1,189 人	
（構成比）	69.1%	68.1%	69.3%	72.0%	70.7%	69.7%
東京都	286 人	265 人	225 人	209 人	168 人	
（構成比）	10.4%	10.5%	9.7%	10.4%	10.0%	10.2%
静岡県	165 人	172 人	164 人	120 人	101 人	
（構成比）	6.0%	6.8%	7.1%	6.0%	6.0%	6.4%
その他	400 人	366 人	325 人	231 人	223 人	
（構成比）	14.5%	14.6%	14.0%	11.5%	13.3%	13.7%
全国計	2,758 人	2,515 人	2,325 人	2,002 人	1,681 人	

出典：文部科学省「学校基本調査」

（資料 2-9）本学の出身高校所在地都道府県別の入学者数

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	平均構成比
神奈川県	473 人	442 人	449 人	385 人	288 人	
（構成比）	89.8%	86.8%	88.4%	89.5%	88.3%	88.6%
東京都	17 人	22 人	10 人	9 人	7 人	
（構成比）	3.2%	4.3%	2.0%	2.1%	2.1%	2.8%
静岡県	18 人	19 人	28 人	20 人	7 人	
（構成比）	3.4%	3.7%	5.5%	4.7%	2.1%	4.0%
その他	19 人	26 人	21 人	16 人	24 人	
（構成比）	3.6%	5.1%	4.1%	3.7%	7.4%	4.6%
計	527 人	509 人	508 人	430 人	326 人	

出典：本学調べ

④既設組織の定員充足の状況

本学には、総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科、保育学科の 3 学科がある。各学科の入学定員の充足状況については、別紙 2-1 に総合ビジネス・情報学科を、別紙 2-2 に生活プロデュース学科を、別紙 2-3 に保育学科の状況を記載している。別紙を基に資料 2-10 の「本学の既設学科（総合ビジネス・情報学科）の入学定員充足率」、資料 2-11 の「本学の既設学科（総合ビジネス・情報学科）の収容定員充足率」に示すとおり、直近5年の入学定員充足率および収容定員充足率の平均は90%を超えている。神奈川県内でビジネス系と IT 系の学科を持つ唯一の短期大学として、その魅力を広報することにより、定員の充足を図っていく。また、資料 2-12～2-15 に本学の新設学科（生活プロデュース学科と保育学科）の入学定員充足率と収容定員充足率をそれぞれ示す。

＜生活プロデュース学科＞

資料 2-13 より生活プロデュース学科の収容定員充足率が令和 5 年度 66%（0.66）、令和 6 年度 55%（0.55）と 70%（0.7）を下回っている。別紙 1「新設組織の学問分野の定員充足状況」より、令和 5 年度における家政系の充足率は 70.16%である。この充足率を基に現在の定員 125 名を 90 名に変更し適性化を図る。生活プロデュース学科は、人の暮らしに近い「衣・食・住」をはじめ、「健康」や「家族」に関わる多彩な科目や自由度の高いカリキュラムを通じて、専門的な知識、コミュニケーション力、ビジネスマナー及びパソコンスキルを身につけ、資格取得や検定に加えて、インターンシップやボランティアなどの実践的な経験を経て社会で活躍・貢献できる人材の育成を推進していて、神奈川県内の短期大学で幅広い学びの選択肢を有している。この魅力を広報することにより、定員の充足を図っていく。

＜保育学科＞

資料 2-15 より保育学科の収容定員充足率が令和 6 年度 69%（0.69）と 70%（0.7）を下回っている。別紙 1「新設組織の学問分野の定員充足状況」より、令和 5 年度における教育系の充足率は 68.36%である。この充足率を基に現在の定員 135 名を 110 名に変更し適性化を図る。保育学科は、「徹底した実習指導」「独自の表現活動」「教員の個別指導」を特長として、保育現場で必要とされる「実践力」「表現力」「コミュニケーション力」を身につけることに力を入れている。卒業生のほぼ全員が、2 年間で幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格を同時に取得し、保育専門職としての就職が圧倒的多数で、昭和 54 年の学科開設以降、これまで約 4,300 名の卒業生を輩出している。これら卒業生が得た評価は、本学と多くの園との信頼関係構築に結びついている。保育学科の保育者養成における特長ある教育への取り組みを継続し、広く広報すること、そして保育現場との信頼関係を継続・拡大することで定員の充足を図っていく。

（資料 2-10）本学の既設学科（総合ビジネス・情報学科）の入学定員充足率

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	平均
志願者数	264 人	262 人	223 人	177 人	162 人	218 人
合格者数	242 人	245 人	201 人	172 人	159 人	204 人
入学者数	240 人	243 人	200 人	167 人	154 人	201 人
入学定員数	220 人	220 人	220 人	220 人	220 人	220 人
入学定員充足率	109%	110%	91%	76%	70%	91%

出典：本学調べ

（資料 2-11）本学の既設学科（総合ビジネス・情報学科）の収容定員充足率

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	平均
学生数	494 人	477 人	439 人	371 人	322 人	421 人
収容定員数	440 人	440 人	440 人	440 人	440 人	440 人
収容定員充足率	112%	108%	100%	84%	73%	96%

出典：本学調べ

（資料 2-12）本学の新設学科（生活プロデュース学科）の入学定員充足率

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	平均
志願者数	140 人	153 人	108 人	67 人	81 人	110 人
合格者数	126 人	140 人	97 人	65 人	80 人	102 人

入学者数	124 人	140 人	97 人	63 人	77 人	100 人
入学定員数	125 人	125 人	125 人	125 人	125 人	125 人
入学定員充足率	99%	112%	78%	50%	62%	80%

出典：本学調べ

（資料 2-13）本学の新設学科（生活プロデュース学科）の収容定員充足率

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	平均
学生数	255 人	266 人	241 人	164 人	137 人	213 人
収容定員数	250 人	250 人	250 人	250 人	250 人	250 人
収容定員充足率	102%	106%	96%	66%	55%	85%

出典：本学調べ

（資料 2-14）本学の新設学科（保育学科）の入学定員充足率

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	平均
志願者数	178 人	130 人	155 人	106 人	94 人	133 人
合格者数	145 人	125 人	133 人	96 人	92 人	118 人
入学者数	145 人	125 人	133 人	96 人	89 人	118 人
入学定員数	135 人	135 人	135 人	135 人	135 人	135 人
入学定員充足率	107%	93%	99%	71%	66%	87%

出典：本学調べ

（資料 2-15）本学の新設学科（保育学科）の収容定員充足率

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	平均
学生数	281 人	269 人	254 人	225 人	185 人	243 人
収容定員数	270 人	270 人	270 人	270 人	270 人	270 人
収容定員充足率	104%	100%	94%	83%	69%	90%

出典：本学調べ

（３）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア　既設組織における取組とその目標

資料 3-1 の「志望校選び、本学の情報収集で有効だったもの」に示すとおり、上位 3 つは「オープンキャンパス」「大学パンフレット」「ホームページ・SNS」であり、ここ 3 年で変化はなく、受験生に対する有効な情報提供の手段であると考えている。別紙 3 の①「湘北短期大学のオープンキャンパス」に示すとおり、本学では毎年 17 回～18 回のオープンキャンパスを実施している。土曜日、日曜日の週末開催に加え、学校帰りに気軽に参加できる放課後の開催や、遠方の方が参加しやすいオンラインでの開催、夏休みの開催など、バリエーション豊かな開催方法で集客を図ってきている。この結果として、受験率、入学率とも 45%前後である。別紙 3 の②「湘北短期大学の学校案内パンフレットの配布（郵送）」に示すとおり、大学案内のパンフレットは 1,000 名ほどの受験生から請求があり、郵送している。令和 5 年度入試の受験率、入学率は、令和 4 年度入試に比べて概ね半減している。

（資料 3-1）志望校選び、本学の情報収集で有効だったもの（上位 3 つ、複数回答）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
オープンキャンパス	87%	87%	97%
大学パンフレット	82%	71%	84%
ホームページ・SNS	53%	53%	72%

出典：本学調べ（合格者に対するアンケート）

イ　新設組織における取組とその目標

資料 3-1 の「志望校選び、本学の情報収集で有効だったもの」に示すとおり、令和 4 年度に、ホームページ・SNS の比率が約 20 ポイントアップしている。また、大学パンフレットも 13 ポイントアップしている。一方で別紙 3 の②「湘北短期大学の学校案内パンフレットの配布（郵送）」に示すとおり、受験率や入学率は前年度に比べて概ね半減していることから、SNS による情報発信を強化することは本学の学生募集において重要な情報提供の手段であり、ホームページへの訪問者数を増やすことにつながると考える。その中でも特に動画による情報提供は必須であり、TikTok で認知拡大、Instagram で理解促進、さらに YouTube で理解深化という訴求目的を明確にし、それぞれの特性を活かした SNS の活用を図っている。

生活プロデュース学科、保育学科ともに Instagram を活用しており、授業内容や教員の紹介、学生生活などを題材としたコンテンツの制作には、学生を中心に、教員も加わって撮影・編集・掲載を進めている。また、今後、制作したコンテンツは学内で共有し、

TikTok や YouTube など、他の SNS の掲載に適したコンテンツとなるよう再編集などを施し、横展開を図っていく。

ウ　当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

別紙 3 の①「湘北短期大学のオープンキャンパス」に示すとおり、令和 5 年度の入試における受験率は令和 4 年度入試に比べて 1.5 ポイント、入学率は 0.9 ポイントアップしている。また、上記ア、イで記述したとおり、令和 4 年度では、ホームページ・SNS が志望校選びや本学の情報収集で有効だったとしてポイントが上がっている。

加えて、令和 6 年度入試（令和 5 年実施）の合格者アンケートの速報（本学調べ）では、生活プロデュース学科、保育学科の合格者ともに、本学の情報収集では Instagram が第 1 位となっている。特に、Instagram の投稿に力を入れた保育学科では、70%を超えるスコアとなっていることから、生活プロデュース学科を含めて、動画による情報提供は有効な手段と考える。他の SNS やホームページでの動画活用の継続・強化を図ることで、各学科における授業内容、担当教員、学生生活などの理解をより深めてもらうことができる。従来の学生募集活動に、これらの動画活用を加えることで、オープンキャンパスへの参加者を増やし、受験率・入学率の向上につなげられることから、生活プロデュース学科 90 名、保育学科 110 名の各入学定員を充足できる見込みである。

②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア　競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

前述の「（２）人材需要の社会的な動向等」の「③新設組織の主な学生募集地域」に示したとおり、神奈川県内の短期大学の約 70%の学生や本学の約 90%の学生が神奈川県内にある高校の出身者で占められていること、また本学が、神奈川県の県央エリア（厚木市）に所在することや学問分野の類似性から、保育学科については、主な競合校を神奈川県内の短期大学と考える。

＜生活プロデュース学科＞

本学科は、ライフスタイルをマネジメントして、自分らしく生きがいのある未来の暮らしを作り、社会で活躍・貢献できる人材を育成することを目的として、「ファッション」「インテリアデザイン」「フード」「子どもサービス」「医療事務・情報」の各コースで構成されている。人の暮らしに近い「衣・食・住」をはじめ、「健康」「家族」に関わる多彩な科目や自由度の高いカリキュラムを通じて専門的な知識やコミュニケーション力やビジネスマナー、パソコンスキルを身につけ、資格取得や検定に加えて、インターンシップやボランティアなどの実践的な経験により、社会で活躍・貢献できる人材の育成を推進している。学問分野の類似性という視点から、本学科のフードコースのみ、神奈川県内の短期大学を競合校として捉えている。本学科は、学科内の共通科目やコース科目のほか、他コースの科目を選択して受講できるなど、学生が自由にカリキュラムを組

み立てられる特徴がある。

＜保育学科＞

神奈川県内の短期大学の指定保育士養成施設の 6 校に加え、所在地の近い東京都町田市にあるフェリシアこども短期大学と県内近隣にある四年制大学の東海大学の 2 校を加え、8 校を競合校として選定する。本学科では、幼稚園の教員や保育士としての専門的知識や実習活動などを通じて、実践力・表現力・コミュニケーション力を身につけ、社会に貢献できる人材を育成することを目的としている。子どもの教育・保育に携わる者として、生涯にわたり学習し、成長し続ける力を養成する。

イ　競合校の入学志願動向等

＜生活プロデュース学科＞

資料 3-2「生活プロデュース学科の競合校の入学志願状況（過去 3 年)」に示すとおり、競合校の入学者数は減少傾向を示している。入学者数の過去 3 年の平均は、相模女子大学短期大学部食物栄養学科で 74 名、小田原短期大学食物栄養学科で 82 名である。なお、相模女子大学短期大学部食物栄養学科は、令和 6 年度に 80 名への定員変更を予定している。

（資料 3-2）生活プロデュース学科の競合校の入学志願状況（過去 3 年）

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
相模女子大学短期大学部 食物栄養学科	志願者数	100	73	75
	受験者数	－	－	－
	合格者数	98	69	74
	入学者数	90	68	65
	入学定員	120	120	120
	定員充足率	75.0%	56.7%	54.2%
小田原短期大学 食物栄養学科	志願者数	90	89	80
	受験者数	－	－	－
	合格者数	89	85	80
	入学者数	86	81	79
	入学定員	80	80	80
	定員充足率	107.5%	101.3%	98.8%

出典：各大学の公開情報より。情報が得られなかった箇所を「－」で示す

＜保育学科＞

資料 3-3「保育学科の競合校の入学志願状況（過去 3 年)」に示すとおり、競合校 7

校について、令和５年度で定員を満たしている大学はない状況である。

（資料 3-3）保育学科の競合校の入学志願状況（過去３年）

		令和３年度	令和４年度	令和５年度
洗足こども短期大学	志願者数	322	272	199
幼児教育保育科	受験者数	322	272	199
	合格者数	315	269	198
	入学者数	310	268	195
	入学定員	250	250	250
	定員充足率	124.0%	107.2%	78.0%
横浜女子短期大学	志願者数	－	63	63
保育科	受験者数	－	－	—
	合格者数	—	63	63
	入学者数	74	63	63
	入学定員	200	200	150
	定員充足率	37.0%	31.5%	42.0%
和泉短期大学	志願者数	246	199	195
児童福祉学科	受験者数	243	189	195
	合格者数	222	189	191
	入学者数	221	188	190
	入学定員	250	200	200
	定員充足率	88.4%	94.0%	95.0%
鎌倉女子大学短期大学部	志願者数	306	369	275
初等教育学科	受験者数	295	328	241
	合格者数	216	213	184
	入学者数	178	152	104
	入学定員	200	200	200
	定員充足率	89.0%	76.0%	52.0%
小田原短期大学	志願者数	129	122	107
保育学科	受験者数	—	—	—
	合格者数	124	122	106
	入学者数	119	121	104
	入学定員	140	140	140
	定員充足率	85.0%	86.4%	74.3%
鶴見大学短期大学部	志願者数	120	122	109
保育科	受験者数	119	120	109
	合格者数	—	—	108
	入学者数	115	117	107
	入学定員	200	200	200
	定員充足率	57.5%	58.5%	53.5%
フェリシアこども短期大学	志願者数	—	—	—
国際こども教育学科	受験者数	—	—	—
	合格者数	—	—	—
	入学者数	120	127	102
	入学定員	130	130	130
	定員充足率	92.3%	97.7%	78.5%
東海大学	志願者数		662	475
児童教育学部	受験者数		604	411
	合格者数		246	259
児童教育学科	入学者数		147	149
	入学定員		150	150

	定員充足率		98.0%	99.3%

出典：各大学の公開情報より。情報が得られなかった箇所を「－」で示す

ウ　新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

＜生活プロデュース学科＞

本学科では、各コースで専門的な知識を得るとともに、多彩な科目を履修できる自由度の高いカリキュラム構成としている。資料 3-4 の「生活プロデュース学科就職先の職種別構成」に示すとおり、令和 3 年度と令和 4 年度は、コロナ禍による社会情勢の変化に伴う求人状況から事務従事者が半数を超えているが、平成 30 年度から令和 2 年度では、販売従事者と事務従事者、サービス職業従事者のいずれかに偏ることなく幅広い職種に就職している。本学科の卒業生は、社会からの様々な職種の人材ニーズに対応しており、今後とも就職先の確保は問題ないと考える。18 歳人口の減少や短大進学率の低下など、外的環境が悪化する環境下において、2 年間を通じて、高い知識、専門的なスキル、人間力を身につけられること、また「就職の湘北」に相応しい、高い就職率を継続している本学科の強み（資料 2-1 参照）をあらゆる機会を通じて広く発信していくことで、本学科の新たな定員 90 名を充足する。

（資料 3-4）生活プロデュース学科　就職先の職種別構成

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
販売従事者	38.1%	39.2%	35.3%	20.4%	30.0%
事務従事者	33.0%	29.4%	35.3%	53.7%	51.7%
サービス職業従事者	20.6%	25.5%	18.5%	17.6%	15.8%
製造技術者（開発除く）	5.2%	2.0%	3.4%	0.0%	0.0%
その他の専門的職業従事者	3.1%	3.9%	7.6%	8.3%	2.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

出典：本学調べ

＜保育学科＞

本学科では、幼稚園や保育所、認定こども園、その他の施設において、人間形成に重要な幼児期からの保育・教育に携わる保育者として、豊かな人間性と専門性、責任感、信頼感を併せ持つ人材の育成を目的としている。「徹底した実習指導」「独自の表現活動」「教員の個別指導」を特長として、保育現場で必要とされる「実践力」「表現力」「コミュニケーション力」を身につけることに力を入れている。卒業生のほぼ全員が 2 年間で幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格を同時に取得する。卒業後は免許・資格を生かした保育の専門職としての就職が圧倒的で、昭和 54 年の学科開設以降、これまで約 4,300 名の卒業生を輩出し、地元神奈川県内の幼稚園・保

育所、認定こども園を中心に就職し活躍している。これらの卒業生が得た評価は、本学と多くの園との信頼関係の構築につながっており、学生の実習受け入れや就職で得られた保育現場で求められるノウハウを教員がよく理解して学生指導に生かす機会となっている。これらにより、本学科では、保育を学ぶ充実した学修環境と園での現場体験などを通じて、保育現場で求められる高い資質を持ち、生涯にわたり学び成長し続ける力を持つ保育者を養成する期待に応えている。18 歳人口の減少、短大進学率の低下など外的環境が悪化する環境下にて、本学科の強みをあらゆる機会を通じて広く発信することにより、本学科の新たな定員 110 名を充足する。

エ　学生納付金の金額設定の理由

18 歳人口の減少、短大進学率の低下など外部環境が悪化する環境下で、本学は教育理念「社会でほんとうに役立つ人材を育てる」を礎として、SDGs や DX を教育の柱に据え、社会の変化にも柔軟に対応できる人材を輩出できるよう、教育の質向上や施設・設備への新たなテクノロジーの導入など、量と質の両面から充実を図っている。実習に力を入れている本学では、ファッションデザイン室（デザインや制作を行い、アパレルショップを模したスペースで販売の演習を行う）や調理実習室（最新のシステムキッチンを完備し、生活プロデュース学科・保育学科の学生が授業で使用）、インテリアデザイン室（製図や制作を行い、ディスプレイや演出技法を学ぶ）、乳児保育室（沐浴やおむつ替えなど保育の現場に即した実習を行う）、表現体育室・幼児体育室（保育学科が「身体表現」の授業で使用）、2 つの教室で計 66 台の電子ピアノがある ML 教室、アップライトピアノを設置した個人練習室 15 室など、教育環境の維持・向上に努めている。また、学生生活をサポートする施設面では、神奈川県内の短期大学ではトップクラスの蔵書数 10 万冊以上（絵本 8 千冊以上）を誇る図書館は、入学前から在学中、そして卒業後も利用できる。専門書や資格取得の参考図書に加えて、雑誌や小説、DVD、Blu-ray などのコーナーもあり、気分転換を図る場所として学生の人気スポットのひとつとなっている。ICT 環境については、学内に 6 つのパソコン教室など合わせて約 200 台のノートパソコンを設置し、最新の Wi-Fi 環境も備えており、オンラインを含む授業時はもちろん、授業以外でも教室が空いている時は自由に使えるなど、快適な環境の提供により、学生を強力にサポートしている。その他、最寄り駅の小田急線「本厚木駅」と本学の間を往復しているスクールバスが無料で利用でき、通学面での利便性の向上を図っている。教育内容の質の向上に加え、上記をはじめとした環境面を充実させ、競合校との競争力の維持・向上を図るため、生活プロデュース学科の学生納付金を資料 3-5「生活プロデュース学科と競合校の学生納付金（初年度）」に、保育学科の学生納付金を資料 3-6「保育学科の競合校の学生納付金（初年度）」に示す。

（資料 3-5）生活プロデュース学科と競合校の学生納付金（初年度）　（単位：円）

大学名 学科名	学費等 入学金	授業料 （年額）	施設費等	実験実習費 （年額）	その他	合計
小田原短期大学 食物栄養学科	340,000	750,000	240,000	100,000	70,000	1,500,000
相模女子大学短期大学部 食物栄養学科	300,000	725,000	280,000	55,000	40,000	1,400,000
					上記競合校平均	1,450,000
湘北短期大学 生活プロデュース学科	300,000	850,000	230,000	－	10,000	1,390,000

出典：各大学の公開情報より

（資料 3-6）保育学科と競合校の学生納付金（初年度）　（単位：円）

大学名・学部 学科名	学費等 入学金	授業料 （年額）	施設費等	実験実習費 （年額）	その他	合計
和泉短期大学 児童福祉学科	290,000	730,000	220,000	100,000	18,000	1,358,000
小田原短期大学 保育学科	340,000	770,000	240,000	90,000	80,000	1,520,000
鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科	380,000	640,000	196,000	180,000	15,000	1,411,000
洗足こども短期大学 幼児教育保育科	350,000	648,500	337,500	ー	51,400	1,387,400
鶴見大学短期大学部 保育科	350,000	640,000	280,000	120,000	ー	1,390,000
横浜女子短期大学 保育科	250,000	810,000	280,000	ー	35,000	1,375,000
フェリシアこども短期大学 国際こども教育学科	300,000	940,000	310,000	20,000	ー	1,570,000
東海大学　児童教育学部 児童教育学科	200,000	1,269,000	ー	ー	59,200	1,528,200
					上記競合校平均	1,442,450
湘北短期大学	300,000	920,000	230,000	ー	10,000	1,460,000

保育学科						

出典：各大学の公開情報より

③先行事例分析

生活プロデュース学科の競合校では、相模女子大学短期大学部食物栄養学科が令和 6 年度入試（令和 5 年度実施）より定員を 120 名から 80 名に変更するものの、直近 5 年では先行事例はない。保育学科の競合校では、洗足こども短期大学幼児教育保育科が令和 3 年度入試（令和 2 年度実施）より 300 名から 250 名に変更（変更後の入学定員充足率は 124.0%、107.2%、78.0%で推移）、和泉短期大学児童福祉学科が令和 4 年度入試（令和 3 年度実施）より定員を 250 名から 200 名に変更（変更後の入学定員充足率は 94.0%、95.0%で推移）した事例がある。なお、横浜女子短期大学保育科が令和 6 年度入試（令和 5 年度実施）より定員を 200 名から 150 名に変更している。

④学生確保に関するアンケート調査

神奈川県内にある大学、専門学校、短期大学の入学者数を資料 3-7 に示す。大学は平成 29 年度をピークに 4 年連続で入学者が減少していたが、令和 4 年度に一転して増加に転じ、令和 5 年度も微増している。これは令和 2 年 4 月にスタートした「高等教育の修学支援新制度」が 2 年目を迎え、支援が必要な家庭に一定程度浸透した結果と推察される。
一方で短期大学は、ここ 10 年ほど減少し続けており、特に直近 2 年は、前年比で約 14%、約 16%も減少している。

（資料 3-7）神奈川県内にある大学、専門学校、短期大学の入学者数

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
大学	47,719	46,894	45,619	47,445	47,792
（前年比）		98.3%	97.5%	104.0%	100.7%
専門学校	11,257	11,438	10,633	9,854	9,612
（前年比）		101.6%	93.0%	92.7%	97.5%
短期大学	2,758	2,515	2,325	2,002	1,681
（前年比）		91.2%	92.4%	86.1%	84.0%

出典：文部科学省「学校基本調査」

次に、本学のオープンキャンパス（以下「OC」という）の参加者数と入学者数の推移を資料 3-8 に示す。直近 2 年の OC の参加者は減少を続け、それとともに入学者も減少している。資料 3-7 で示した神奈川県内にある短期大学の入学者数の減少が影響している。

（資料 3-8）本学のオープンキャンパス（OC）参加者数と入学者数

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
OC 参加者数	2,048	1,719	1,793	1,455	1,233
入学者数	527	509	508	430	326
入学定員	480	480	480	480	480
入学定員充足率	110%	106%	106%	90%	68%

出典：本学調べ

本学は、令和 3 年度まで入学定員充足率 100%を超える状況が続いていたが、神奈川県内の短期大学において、平成 30 年度以降、入学定員充足率の悪化の影響が徐々に現れ、本学の入学定員充足率は、令和 4 年度以降、100%を切る状態となった（資料 3-8 参照）。今回、入学定員を変更する生活プロデュース学科と保育学科の入学者の状況を資料 3-9 に示す。令和 3 年度から令和 5 年度における入学者数と入学定員充足率の平均は、生活プロデュース学科で 100 名、80.0%、保育学科で 118 名、87.4%である。資料 3-7 で示したとおり、神奈川県内の短期大学への進学者数の減少が加速していること、また資料 3-8 で示した、本学オープンキャンパスへの参加者数の減少などの状況変化を踏まえ、入学定員の適正化が必要と判断し、入学定員を生活プロデュース学科は 90 名、保育学科は 110 名に減員することで、定員を確保できると見込んでいる。

（資料 3-9）定員を変更する学科の入学者の状況

		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	直近 3 年の平均
生活プロデュース学科	入学者数	130	124	140	97	63	100
	入学定員数	125	125	125	125	125	125
	入学定員充足率	104.0%	99.2%	112.0%	77.6%	50.4%	80.0%
保育学科	入学者数	141	145	125	133	96	118
	入学定員数	135	135	135	135	135	135
	入学定員充足率	104.4%	107.4%	92.6%	98.5%	71.1%	87.4%

出典：本学調べ

⑤人材需要に関するアンケート調査等

本学は、「社会でほんとうに役立つ人材を育てる」を教育理念に、教育基本法および学校教育法の定めるところに従い、「自分で考える・自分の言葉で表現できる・自分で決めて実行できる」社会人となるために、一般教養や専門知識・技能を授け、社会の発展を担う次世代の人材の養成を教育目的としている。

生活プロデュース学科においては、ライフスタイルをマネジメントして、自分らしく生きがいのある未来の暮らしを作り、社会で活躍・貢献できる人材を育成することを目的

としている。人の暮らしに近い衣・食・住をはじめ、健康・家族に関わる多彩な科目や自由度の高いカリキュラムを通じて専門的な知識やコミュニケーション力やビジネスマナー、パソコンスキルを身につけ、資格取得や検定に加えて、インターンシップやボランティアなどの実践的な経験による社会人の育成を推進している。

保育学科においては、幼稚園の教員や保育士として専門的知識や実習活動などを通じて、実践力・表現力・コミュニケーション力を身につけ、社会に貢献できる人材を育成することを目的としている。子どもの教育・保育に携わる者として生涯にわたり学習し、成長し続ける力を養成する。

これらの本学における人材の養成に関する目的や、その他の教育研究上の目的が、社会や地域の人材ニーズを踏まえたものであることの客観的な根拠は以下の通りである。

資料 3-10 に、本学卒業者の就職内定状況を年度別に示す。直近 5 年の就職率（就職者÷就職希望者）は 96%を越えており、さらに 9 年連続 96%以上の高い就職率となっている。

このうち、保育学科の卒業生について、就職先の内訳を資料 3-11 に示す。保育園（公立・私立）、幼稚園（公立・私立）、認定こども園、社会福祉施設を中心とした保育・教育、社会福祉関連が中心であり、希望者の就職率はほぼ 100%である。本学は、神奈川県の県央エリアに位置しており、各学科の卒業生に対する地域からの人材ニーズは大きいものがある。特に保育学科は、保育者の養成機関として、社会的な要請もあって、継続する意義は大きい。

（資料 3-10）就職率と実就職率の推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
就職者数	446	490	479	450	435
就職希望者数	452	499	492	458	449
就職率	98.7%	98.2%	97.4%	98.3%	96.9%

出典：本学調べ、就職率・実就職率は小数点第 2 位四捨五入

（資料 3-11）保育学科卒業生の就職先内訳

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
私立保育園	60	65	53	68	48
私立幼稚園	35	27	31	33	28
認定こども園	9	24	28	29	28
公務員	19	12	13	8	13
社会福祉施設	1	3	4	2	1
一般企業ほか	3	2	3	2	1
進学	0	0	0	0	0

その他	1	0	3	1	1
卒業者数	128	133	135	143	120

出典：本学調べ

（4）新設組織の定員設定の理由

湘北短期大学（以下「本学」という）は、神奈川県の県央エリア（厚木市）にあり、総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科、保育学科の 3 学科からなる総合短期大学である。今般、入学定員の適正化を図るため、生活プロデュース学科の定員を 125 名から 90 名に、収容定員を 250 名から 180 名にし、また保育学科の入学定員を 135 名から 110 名に、収容定員を 270 名から 220 名に変更する。総合ビジネス・情報学科については入学定員 220 名、収容定員 440 名はそのまま変更せず、結果として、本学としての入学定員総数を 420 名に、収容定員総数を 840 名に変更する。

（背景）

神奈川県内にある大学、専門学校、短期大学の入学者数を資料 4-1 に示す。大学は平成 29 年度をピークに 4 年連続で入学者が減少していたが、令和 4 年度に一転して増加に転じ令和 5 年度も微増になっている。これは令和 2 年 4 月にスタートした「高等教育の修学支援新制度」が 2 年目を迎え、支援が必要な家庭に一定程度浸透した結果と推察される。一方で短期大学は、ここ 10 年ほど減少を続けており、特に直近 2 年は、前年比で約 14%、約 16%も減少している。

（資料 4-1）神奈川県内にある大学、専門学校、短期大学の入学者数

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
大学	47,719	46,894	45,619	47,445	47,792
（前年比）		98.3%	97.5%	104.0%	100.7%
専門学校	11,257	11,438	10,633	9,854	9,612
（前年比）		101.6%	93.0%	92.7%	97.5%
短期大学	2,758	2,515	2,325	2,002	1,681
（前年比）		91.2%	92.4%	86.1%	84.0%

出典：文部科学省「学校基本調査」より

次に、本学のオープンキャンパス（以下「OC」という）の参加者数と入学者数を資料 4-2 に示す。直近 2 年の OC 参加者は減少を続け、それとともに入学者も減少している。資料 4-1 で示した神奈川県内にある短期大学の入学者数の減少が影響している。

（資料 4-2）本学のオープンキャンパス（OC）参加者数と入学者数

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
OC 参加者数	2,048	1,719	1,793	1,455	1,233
入学者数	527	509	508	430	326
入学定員	480	480	480	480	480
入学定員充足率	110%	106%	106%	90%	68%

出典：本学調べ

本学は、令和 3 年度まで入学定員充足率 100%を超える状況が続いていたが、神奈川県内の短期大学において、平成 30 年度以降、入学定員充足率の悪化の影響が徐々に現れ、本学の入学定員充足率は、令和 4 年度以降、100%を切る状態となった（資料 3-8 参照）。
今回、入学定員を変更する生活プロデュース学科と保育学科の入学者の状況を資料 3-9 に示す。令和 3 年度から令和 5 年度における入学者数と入学定員充足率の平均は、生活プロデュース学科で 100 名、80.0%、保育学科で 118 名、87.4%である。資料 3-7 で示したとおり、神奈川県内の短期大学への進学者数の減少が加速していること、また資料 3-8 で示した、本学オープンキャンパスへの参加者数の減少などの状況変化を踏まえ、入学定員の適正化が必要と判断し、入学定員を生活プロデュース学科は 90 名、保育学科は 110 名に減員することで、定員を確保できると見込んでいる。

（資料 4-3）定員を変更する学科の入学状況

		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	直近 3 年の平均
生活プロデュース学科	入学者数	130	124	140	97	63	100
	入学定員数	125	125	125	125	125	125
	入学定員充足率	104.0%	99.2%	112.0%	77.6%	50.4%	80.0%
保育学科	入学者数	141	145	125	133	96	118
	入学定員数	135	135	135	135	135	135
	入学定員充足率	104.4%	107.4%	92.6%	98.5%	71.1%	87.4%

出典：本学調べ

このような状況下、本学では学生確保に向けて以下の取り組みを行っている。

① 情報発信への取り組み

本学では、ホームページや SNS（X、Instagram、LINE、YouTube、Facebook）を活用して情報発信を行っているが、高校生と親和性の高い SNS、特に動画に力を入れている。各学科の学びや資格取得、オススメの教室のほか、入試制度や本学での学生生活、図書館やキャンパスレストランなどの施設について、学生が主役となり紹介する動画を積極的に公開している。作成する際には、あらかじめ定義した各 SNS の役割（認知・

浅い理解・深い理解）に基づいて、内容や収録時間（長尺・短尺）に工夫を凝らしている。

また収録映像のほか、学生によるライブ配信も行い、鮮度の高い情報提供や高校生からの質問に答えるなど、タイムリーかつスピーディーなコミュニケーションに努めている。さらに進学媒体社のサイトにも動画を掲載し、高校生が本学の情報に接触するポイントや回数を増やしている。

② 高等学校との連携強化

教職員で構成されている「学生募集委員会」のメンバーを中心に組織的に取り組んでおり、高等学校の進路指導の担当者を対象にした本学での学校説明会の開催や高等学校への個別訪問、進学媒体社が行うガイダンス（高校や指定会場で大学の説明や模擬授業を実施）への積極的な参加など、高等学校との情報交換に努めている。さらに「リベラルアーツセンター」が行っていた高大連携の活動を、令和 5 年度から新設した「地域連携センター」に移管し、提携する高等学校を拡大し、教育面での連携強化にも積極的に取り組んでいる。

③ OC への取り組み

OC の開催は対面が中心であるが、コロナ禍を経てオンライン開催という新たな手法を学んだ。距離や時間の制約により参加できない受験生や保護者に向けて、学校帰りに気軽に参加できる「放課後 OC」や「WEB-OC（オンライン開催）」など開催方法に工夫を加えている。プログラムについては、受験生と年齢の近い OC をサポートする学生スタッフ（以下「湘北ナビ」という）とコミュニケーションできる時間と機会を増やしている。授業や演習を湘北ナビと一緒に体験し、本学の学生になった自分をイメージできる体験型の模擬授業の回数を増やす、また学内見学やランチタイムを一緒に過ごして気軽に質問・相談できる機会を設けて、受験生や保護者の不明点や不安解決に努めている。

また、OC 参加者には、神奈川県内の短期大学としてはトップクラスの蔵書数（10 万冊以上、絵本 8,000 冊以上）を誇る本学の図書館を自由に利用できるパスを配布し、入学前から気軽に利用できる環境を整えている。なお、本学の図書館は卒業後も利用できる。

大学パンフレットの請求や OC の参加者を増やすため、進学媒体への情報の掲載やインターネット広告による露出アップ、さらに OC のダイレクトメールを、資料請求の有無やエリアなどの条件を組み合わせて送付し、きめ細やかな情報提供を心掛けている。

④ 本学の説明や見学などへの細やかなフォロー・対応

OC 以外にも受験希望者に柔軟に対応できるよう、学科説明や入試説明、学内見学、個別見学、相談などを行っている。本学スタッフが受験生の希望学科や意向を聞き、その内容に沿った丁寧な説明を行っている。さらに受験に向けた個別面接練習ができる体

制も整えている。個別見学と同様に、本学スタッフが面接試験のアドバイスや個別指導を行い、受験前の不安の解消に努めている。

⑤　WEB 出願と総合型選抜への取り組み

令和 5 年度の入試から WEB 出願を導入した。願書作成時の不安（書き損じ、取り寄せや郵送のリードタイムなど）や事務対応の効率化など、受験生と本学双方にとって効果的・効率的に学生募集に繋げられるよう活用している。

令和 6 年度の入試から、総合型選抜については、受験機会を 5 期制とし、受験方法も「面接・プレゼンテーション型」と「面接・作文型」にわかりやすく整理した。また、受験生が進路の選択肢を広げられ、受験しやすくなるよう、「専願のみ」から「併願可」に変更した。

⑥　教育改善への取り組み

SDGs：必修科目や選択科目を通じて、学生が自分事として身近にとらえられるよう、外部講師や地元企業の方々を招いて授業を行い、実社会で起きている課題や変化など、実践的な学習となるよう工夫を行っている。

DX：総合ビジネス・情報学科の教員が生活プロデュース学科の学生を対象に講義を行い、学科を越えて知見と経験を活用・展開している。保育学科では、DX に関連する授業内容の見直しと、この見直し内容に沿った保育士・教員養成課程の変更手続きを完了している。

生活プロデュース学科では、令和 5 年度から、5 つのコースごとに設定している科目の縛りを少なくし、他のコースの科目も幅広く学習できるようにしている。入学後に、学生がコース変更を希望した場合、所属コースを変更することなく、柔軟に科目選択できることで、受験生が安心して学修に専念できるよう努めている。

学生確保を確実なものとするために、上記の取り組みを本学の教職員が一丸となって推進して浸透させ、①生活プロデュース学科での男子受け入れによる本学全体での男女共学化、②同学科での長期履修学生制度（3 年じっくり課程）の導入により、学生が考えるキャリアプランに柔軟に対応でき、経済的な負担も軽減できる取り組み、③保育学科での高校生を対象に開催している年 2 回の「保育入門講座（本学の授業を実体験できる機会)」の中学生への対象拡大、④同学科による高校への積極的な働きかけによる出張授業の実施回数の増加などを推進する。加えて、これらを学生募集に関連する活動として積極的に広報することで本学の認知度を上げ、ホームページへの訪問者や資料請求数、各種動画コンテンツの視聴者数、オープンキャンパスの参加者増につなげ、本学への理解を深めてもらうことで、志願者増→受験者増→入学者増につながるポジティブスパイラルが構築できると考えている。

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙１

〇新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地（都道府県）	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	神奈川県	86.26%	77.86%	65.41%
2				

※２校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

〇新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和３年度	令和４年度	令和５年度
1	家政系	80.72%	78.93%	70.16%
2	教育系	78.98%	73.96%	68.36%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－１

大学学部学科等名：湘北短期大学　総合ビジネス・情報学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	R６年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		110人	110人	110人	75人	80人	97人
	延べ人数	志願者数	166人	127人	98人	77人	74人	108人
		受験者数	147人	112人	76人	73人	71人	96人
		合格者数	147人	112人	76人	73人	71人	96人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	4人	4人	2人
	実　人　数	志願者数	166人	127人	98人	77人	74人	108人
		受験者数	147人	112人	76人	73人	71人	96人
		合格者数	147人	112人	76人	73人	71人	96人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	4人	4人	2人
	入学者数		146人	111人	76人	69人	67人	94人
学校推薦型選抜	募集人数		100人	100人	100人	135人	135人	114人
	延べ人数	志願者数	89人	130人	122人	99人	85人	105人
		受験者数	89人	130人	122人	99人	85人	105人
		合格者数	89人	128人	122人	98人	85人	104.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0.4
	実　人　数	志願者数	89人	130人	122人	99人	85人	105
		受験者数	89人	130人	122人	99人	85人	105
		合格者数	89人	128人	122人	98人	85人	104.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0.4
	入学者数		88人	128人	122人	97人	85人	104
一般選抜	募集人数		10人	10人	10人	10人	5人	9
	延べ人数	志願者数	9人	5人	3人	1人	3人	4.2
		受験者数	9人	5人	3人	1人	3人	4.2
		合格者数	6人	5人	3人	1人	3人	3.6
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	1人	1人	0人	1人	0.6
	実　人　数	志願者数	9人	5人	3人	1人	3人	4.2
		受験者数	9人	5人	3人	1人	3人	4.2
		合格者数	6人	5人	3人	1人	3人	3.6
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	1人	1人	0人	1人	0.6
	入学者数		6人	4人	2人	1人	2人	3
共通テスト利用入試	募集人数							#DIV/0!
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実　人　数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
その他の特別選抜	募集人数							#DIV/0!
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実　人　数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
合計	募集人数		220人	220人	220人	220人	220人	220人
	延べ人数	志願者数	264人	262人	223人	177人	162人	218人
		受験者数	245人	247人	201人	173人	159人	205人
		合格者数	242人	245人	201人	172人	159人	204人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	1人	5人	5人	3人
	実　人　数	志願者数	264人	262人	223人	177人	162人	218人
		受験者数	245人	247人	201人	173人	159人	205人
		合格者数	242人	245人	201人	172人	159人	204人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	1人	5人	5人	3人
	入学者数		240人	243人	200人	167人	154人	201人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	220人	220人	220人	220人	220人	220
入学定員充足率	1.09	1.10	0.91	0.76	0.70	0.91
歩留率	0.99	0.99	1.00	0.97	0.97	0.98

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－２

大学学部学科等名：湘北短期大学　生活プロデュース学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	R６年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		60人	60人	60人	47人	52人	56人
	延べ人数	志願者数	85人	67人	50人	32人	39人	55人
		受験者数	72人	57人	40人	30人	38人	47人
		合格者数	72人	56人	40人	30人	38人	47人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	2人	2人	1人
	実人数	志願者数	85人	67人	50人	32人	39人	55人
		受験者数	72人	57人	40人	30人	38人	47人
		合格者数	72人	56人	40人	30人	38人	47人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	2人	2人	1人
	入学者数		70人	56人	40人	28人	36人	46人
学校推薦型選抜	募集人数		60人	60人	60人	75人	70人	65人
	延べ人数	志願者数	55人	85人	58人	35人	42人	55人
		受験者数	55人	85人	58人	35人	42人	55人
		合格者数	54人	84人	57人	35人	42人	54.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0.2
	実人数	志願者数	55人	85人	58人	35人	42人	55
		受験者数	55人	85人	58人	35人	42人	55
		合格者数	54人	84人	57人	35人	42人	54.4
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0.2
	入学者数		54人	84人	57人	35人	41人	54.2
一般選抜	募集人数		5人	5人	5人	3人	3人	4.2
	延べ人数	志願者数	0人	1人	0人	0人	0人	0.2
		受験者数	0人	1人	0人	0人	0人	0.2
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	0人	1人	0人	0人	0人	0.2
		受験者数	0人	1人	0人	0人	0人	0.2
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0
共通テスト利用入試	募集人数							#DIV/0!
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
その他の特別選抜	募集人数							#DIV/0!
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
合計	募集人数		125人	125人	125人	125人	125人	125人
	延べ人数	志願者数	140人	153人	108人	67人	81人	110人
		受験者数	127人	143人	98人	65人	80人	103人
		合格者数	126人	140人	97人	65人	80人	102人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	2人	3人	1人
	実人数	志願者数	140人	153人	108人	67人	81人	110人
		受験者数	127人	143人	98人	65人	80人	103人
		合格者数	126人	140人	97人	65人	80人	102人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	0人	0人	2人	3人	1人
	入学者数		124人	140人	97人	63人	77人	100人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	125人	125人	125人	125人	125人	125
入学定員充足率	0.99	1.12	0.78	0.50	0.62	0.80
歩留率	0.98	1.00	1.00	0.97	0.96	0.98

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）　　別紙２－３

大学学部学科等名：湘北短期大学　保育学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	R６年度入試	平　均
総合型選抜	募集人数		85人	85人	85人	82人	77人	83人
	延べ人数	志願者数	147人	75人	101人	54人	37人	83人
		受験者数	116人	70人	79人	44人	35人	69人
		合格者数	116人	70人	79人	44人	35人	69人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
	実　人　数	志願者数	147人	75人	101人	54人	37人	83人
		受験者数	116人	70人	79人	44人	35人	69人
		合格者数	116人	70人	79人	44人	35人	69人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
	入学者数		116人	70人	79人	44人	32人	68人
学校推薦型選抜	募集人数		47人	47人	47人	50人	55人	49人
	延べ人数	志願者数	29人	55人	54人	52人	57人	49人
		受験者数	29人	55人	54人	52人	57人	49人
		合格者数	28人	55人	54人	52人	57人	49.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実　人　数	志願者数	29人	55人	54人	52人	57人	49.4
		受験者数	29人	55人	54人	52人	57人	49.4
		合格者数	28人	55人	54人	52人	57人	49.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		28人	55人	54人	52人	57人	49.2
一般選抜	募集人数		3人	3人	3人	3人	3人	3
	延べ人数	志願者数	2人	0人	0人	0人	0人	0.4
		受験者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実　人　数	志願者数	2人	0人	0人	0人	0人	0.4
		受験者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		1人	0人	0人	0人	0人	0.2
共通テスト利用入試	募集人数							#DIV/0!
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実　人　数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
その他の特別選抜	募集人数							#DIV/0!
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実　人　数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数							#DIV/0!
合計	募集人数		135人	135人	135人	135人	135人	135人
	延べ人数	志願者数	178人	130人	155人	106人	94人	133人
		受験者数	146人	125人	133人	96人	92人	118人
		合格者数	145人	125人	133人	96人	92人	118人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
	実　人　数	志願者数	178人	130人	155人	106人	94人	133人
		受験者数	146人	125人	133人	96人	92人	118人
		合格者数	145人	125人	133人	96人	92人	118人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	3人	1人
	入学者数		145人	125人	133人	96人	89人	118人

３．入学定員充足率

	H31年度入試	R２年度入試	R３年度入試	R４年度入試	R５年度入試	平　均
入学定員	135人	135人	135人	135人	135人	135
入学定員充足率	1.07	0.93	0.99	0.71	0.66	0.87
歩留率	1.00	1.00	1.00	1.00	0.97	0.99

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙３

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：湘北短期大学のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	1290人	1035人	①取組概要 受験生を含む高校生を対象（保護者などの同伴を含む）としてキャンパスを開放。3学科の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、入試説明、在学生との懇談、施設見学、ランチ体験などを実施。 R4年度入試対象（R3開催）：計18回開催 週末開催：3/27、4/24、5/22、6/5･6、6/19･20、7/17･18、7/31･8/1、8/21･22、9/18 放課後開催：5/21、6/4、6/18、7/16、9/17　WEB開催：5/29、8/7　夏休み開催：8/2、8/6 R5年度入試対象（R4開催）：計17回開催 週末開催：3/26、4/23、5/21、6/11、6/26、7/16、7/31、8/20、9/17 放課後開催：6/17、7/8、10/22、11/12、12/10　WEB開催：8/6　夏休み特別開催：8/5、8/27 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学入学者へのアンケートから、志望校選び・情報収集にオープンキャンパスが一番有効でであり、生活プロデュース学科、保育学科とも体験価値向上への取り組みを強化し、R6年度入試で生活プロデュース学科77名、保育学科88名の入学者を見込む。 ③参加者等総数(a)のうち受験対象者数(b)と判断した基準 参加予約の際に入力したデータから判断。
うち受験対象者数(b)	890人	686人	
うち受験者数(c)	398人	317人	
うち入学者数(d)	397人	312人	
（受験率 c/b）	0人	0人	
（入学率 d/b）	0人	0人	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：湘北短期大学の学校案内パンフレットの配布（郵送）

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	3924人	3935人	①取組概要 受験生を含む高校生を対象に、本学や進学媒体社経由の資料請求に対して郵送を行っている ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者等の総数、受験対象者数とも大きな変化はなく一定の規模を維持している。パンフレットに代表される紙媒体に加え、SNSやYoutubeなどによる動画を活用した情報発信をR4年度より強化し、本学の認知拡大と各学科での学びや学生生活などの理解促進を進めている。R6年度入試にて生活プロデュース学科77名、保育学科88名の入学者を見込む。
うち受験対象者数(b)	1058人	1033人	
うち受験者数(c)	182人	87人	
うち入学者数(d)	181人	84人	
（受験率 c/b）	0人	0人	
（入学率 d/b）	0人	0人	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　　員　　名　　簿

学　長　又　は　校　長　の　氏　名　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
－	学長	タカハシ　ヒロシ 髙橋　洋 ＜令和６年４月＞		学士（文学士）		湘北短期大学 学長 （令和６．４～）